

第3回 公共施設再編に係る  
市長との意見交換会  
～意見集約表～

令和元年8月21日～8月31日 計5回開催

# 目次

1	計画全般に関する質疑応答 .....	1
2	市民文化系施設に関する質疑応答.....	37
3	社会教育系施設に関する質疑応答.....	53
4	スポーツ・レクリエーション系施設に関する質疑応答.....	56
5	学校教育系施設に関する質疑応答.....	60
6	子育て支援施設に関する質疑応答.....	64
7	保健・福祉施設に関する質疑応答.....	66
8	行政系施設に関する質疑応答.....	68
9	公営住宅に関する質疑応答 .....	72
10	公園施設に関する質疑応答 .....	73
11	その他の質疑応答 .....	74

## 1 計画全般に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>コストや施設の配置を考えるのに、図面や設計書が存在しないのはどうかと思う。具体的な資料が無いのに、どのように数字を弾いたのか。</p> <p>広報誌に、この計画の内容が出るのかと思ったが、中々紙面に出ないので、市に問い合わせたところ、7月号広報誌小さく掲載された記事に、7月の半ばまでに意見を募集し、それを持って8月に計画を策定するとのことだった。市と市民でどれだけの意思疎通が図られたのか分からないし、信頼関係も築けていない中で、策定に進むのはどうか。</p>	<p>アンケート、ワークショップ、意見交換会とこれまでも多くの人から出来るだけ多くの意見を聞かせていただきたいと、様々な手段を取らせていただきました。ですので、広報誌の小さな記事をだけを持って意思疎通を図っているということではありません。ただ、まだまだ周知が不十分であるという思いがあるので、本日からまた説明会をやらせていただいております。</p> <p>設計のお話がありましたが、行政が事業をする際は、市の予算だけで行うのではなく、国や大阪府から交付金等を受けて行います。工事等の設計費についても、国や大阪府から交付金等をいただきます。こういった交付金をもらうのに、計画というのが必要となります。この計画はあくまで概要です。個別の具体的な内容については、計画策定後に詰めていきます。</p>
2	<p>パブリックコメントの結果が資料に掲載されているが、行政手続法によれば、パブリックコメントというのは、意見を聞くだけではなく、聞いた意見を尊重し、よく検討した上で答えを出さなければならないとしている。ぜひ一つ一つの課題に真剣に考えて欲しいと思う。</p>	<p>ご意見として頂戴いたします。</p>
3	<p>南中の跡地へ複合施設を持って行くという話だが、南中は1年休校にし、活断層調査をして活断層があり危険だからと泣く泣く廃校になったと思う。それなのに、新たな公共施設が安全というのが分からない。</p>	<p>南中学校について、学校の再編を考える上で3つの課題があります。生徒数減少による小規模校化、校舎の老朽化、校区のねじれです。このような状況があり、子どもの数が減ってきている中で、全ての施設を維持していくことは厳しいと考えました。その中で、南中には東側の半分が土砂災害警戒区域に指定されおり、その下には活断層があるという事実がありました。ただ、南中は当該エリアの避難所としていましたが、土砂災害警戒区域にかかっていない場所に避難所を確保したいと考えました。その上で専門家の意見を伺い、しっかりと設計すれば可能であるとのことでしたのでこのように至りました。</p>
4	<p>人口が減って、税収が減っているという事は、他市からの転入をもっと増やすべきだと思う。古い建物を整備して維持するという事は、文化的には大切なことだと思うが、それだけでは子育て世代は敬遠しやすいのではと思う。なので、魅力のある情報を発信していくことが大切だと思う。魅力のあるイベントをしない限り、ホールを縮小しても意味が無いと思う。</p>	<p>ご意見として、ひとつのイベントだけでなく、複数のイベントを同時に行えば集客が見込め利用率が増えると私も思います。これについて現状、様々な制約がかかった施設が多いです。規制の緩和を図り、利用率の向上に努めます。しかし、行き過ぎて本来の利用者の活動を尊重しつつ進めます。空き情報一つとっても重要だと思います。予約状況や予約をインターネットで行える整備も考えていきたいと思っています。</p>

5	<p>公共施設予約システムの話があったが、新規に利用する人が予約できるという風に言っているが、それをするとな定期的にずっと利用してきた人たちが利用できなくなるので、その辺の管理をきちっとしてもらいたい。新しく若い人たちにも、利用して欲しいが、今まで利用してきた方も使えるように管理してほしい。</p>	<p>今まで以上に施設の利用状況が分かりやすくなります。今でも体育館の稼働率が高いですが、そこに新しい方が入ってくることも我々としては尊重したいです。もちろん、市外の方と市内の方では違います。早い者勝ちにならないような制度設計はしていきたいと思います。</p>
6	<p>これまで何度も説明を聞いてきたが、大前提として人口減少による税収の減少があると理解している。少子化、人口減少は四條畷だけの問題ではなくて、国家の根幹を揺るがす問題だと思っている。私からすると非常に後ろ向きな計画に感じる。少子化だから施設を減らす、学校を減らすのではなくて、子どもを増やす、子育て世代を増やす努力をしたのかどうか教えていただきたい。また、したのであれば具体的にどういうことをしたのか伺いたい。</p>	<p>少子化のお話は施設との兼ね合いがあると思います。施設を建てていくときの国の補助、最後に頂いた政治・選挙の話は、本日は行政に関するお話ですので、差し控えたいとは思いますが、市長という職を預かる身ですから、公の人間として、それに取組むということはこれはもう言うまでもなく、その気持ちでやらせていただいています。</p> <p>少子化については、この計画は確かに少子化の話が出て後ろ向きに感じますが、総合戦略という計画があり、少子化対策については、この中で様々やらせていただいています。例えば、保育所の受け入れ人数を増やしたり、休日に使えなかった子育て支援センターの利用を始めるとか、人口減少を止めるような施策をこの総合戦略に定めています。</p>
7	<p>先ほど、市長が国や大阪府から交付金をもらって事業をしていると言っていたが、これは返さないといけないお金なのか、返さなくていいお金なのか、明確に教えていただきたい。</p>	<p>国の補助は借入なのかどうかは、いろんな方法がありまして、政府に決められたオプションに合わせて、補助をいただけるように申請します。その補助と借入する額と市の基金とを併せて、一番市の負担にならないようにしたいと考えています。</p>
8	<p>活断層がある場所に、公共施設を集約して大丈夫なのか、本当に安全なのか、という市民感情がある。その市民感情や意見を無視して、この計画を強行しようとしている。本当に大丈夫なのか。</p>	<p>市内の学校が整備されている部分が、全て災害の影響を受けない場所にあるかと言えば、そうではありませんし、そういう場所があつて全ての施設をその場所に整備できれば、それが理想です。その中でも比較的、安全な場所に整備をしていきたいという考えのもと動いております。</p>
9	<p>四條畷駅前のタイムズが、いま閉鎖されていて大変困っている。大東市とタイムズとの話もあると思うが、保育ステーションが整備されるまででも、駐車場として開いてもらえないか。</p>	<p>タイムズについては、ご迷惑をおかけしており大変申し訳ございません。今から7、8年くらい前から大東市が主体となり駅前の整備を行っております。元々は大東市から、四條畷も一緒にやっついていかないかという話がありましたが、当時の本市の財政状況等を考えると厳しく、大東市が主導で行うという話になりました。</p> <p>駅前のタイムズは、入口部分の土地を大東市が保有しており、大東市が駅前の開発の代替地として使うとなれば、過去の経緯からも本市からは強く反対できない部分がありました。新たに四條畷市単独で駐車場を行うとなれば、入口部分の確保が必要になります。工事をして新たに整備するか、大東市と用地の協議をするかは、まだ決めておりません。対応が遅く申し訳ございません。</p>

10	市庁舎の移転や、市民総合センターの南中跡地への移転など、これは結論ありきの話なのか。	<p>冒頭の説明でも述べましたが、そういう訳ではございません。計画を策定しないと、次の設計等に進めません。計画は現状で進めたいと考えておりますが、この計画がこれから先ずっとこのままだということは決してございません。社会情勢に応じて柔軟に変更していきます。結論ありきではございません。</p> <p>ただし、非耐震施設を早期に移転させ、災害に対して強くあるとか、なるべく将来に負担を残していかないというような方針は変える考えはございません。施設の配置や規模等については、皆さんのお話を聞かせて頂きたいと考えております。</p>
11	ここで皆さんの意見を聞かれた後、どういう形で結論を出されるのか。	<p>この施設の計画に限らず、道路や下水道なども全てそうですが、行政としては、市民の皆さんの意見を通じながら、一定の内容は計画していきたいと考えています。当然、予算とも紐づいてきますので、行政が決定した予算案を市議会に提出させていただき、それが可決されれば、前に進みますし、否決されれば、前には進まなく、また練り直しが必要です。これは全ての計画に言えることです。</p>
12	重点施策についてだが、審議会等をおいて方向性を決めることはなされないということか。	<p>中身を決めていく時には、有識者のお話も聞かせていただきます。審議会というのは、あくまで諮問をして答申をいただく組織ですので、決定権を審議会に委ねるのではなくて、最終的には、行政が市民の皆さんからいただいたご意見を計画にして、議会に判断いただくということになります。</p>
13	<p>今日、参加して四條畷を愛されている方が多いなと思った。ただ、皆さんが思われていると思うが、まず、財政で何が一番費用が掛かっているのか。お金があれば、皆さんがおっしゃることは全部できる。ただ、市の財政状況はこういう状態であるから、だからこうするんだという説明をすれば、皆さんきちんと分かるのではないか。</p> <p>それと、魅力あるまちづくりには、シンボルが必要だと思う。なので、新しい庁舎は必要だと私は思う。</p>	<p>第二次行財政改革プランというのがございます。この計画にはいろんな改革が並んでおりまして、これをやっていっています。実際、どこに一番税金を使っているかというところ、扶助費という民生費ですね。少子高齢化が進む社会で、この費用はぐんぐん伸びています。それが悪い訳ではなくて、どうすれば税収を確保できるかが重要です。</p> <p>たくさんの方が来れば税収が増えるのかと言えば、そうでもなく、緑の文化園は来場者が年間何十万人と来ていますが、税収にはなかなか跳ね返っては来ません。若い世代の方が移り住んでこそプラス面に跳ね返ってくるので、いま必死に取り組んでおります。</p>

<p>14</p>	<p>公共施設予約システムの導入が来年の3月から稼働予定と書いているが、具体的なことがあまり記載されてなさすぎて、どういう内容なのか、公共施設が一体なにに値するのか、具体的にどういう人が予約できるのか。そういういった詳しい面を話していただきたい。いろいろ使ってるところもあるので、現在利用している人たちが困らないようなシステムになってほしいと思う。</p>	<p>システムにつきましては、これ令和2年3月からというふうに書いてはおりますが、すべて一斉にできるとは、思っておりません。まず、今どういう状況になってるかという使っておられる方も使ったことがない方も、今どこがどれくらい空いてるかっていうのがすぐに分かる状態にはないという状況になっているので、まず市内にある公共施設の空き状況とかをわかるようにしたいことと、公共施設の中でも10%とか20%しか使われてない施設がありまして、今空いてるんですよということを多くの人に見てもらえるようになることで、利用率が上がっていきなという思いで導入していきます。</p> <p>ただ、今お示しいただいたのは、すでに例えば毎週何曜日、何時に使われてる団体さんとかってあると思います。今後そういうものをずっと、例えば大きな大会があるとか、定例的に使われてるとかっていうところの団体の皆さんとですね、今後これについては、実際に全員が予約できるようにする前の段階からどういうふうにしていくことで利用しやすいのか。今使ってる団体さんだけじゃなくて、これから使いたいなど思ってる方々もいらっしゃるので、どういうふうにしていけば、ルール設計がうまくいけるのか。これは本格導入の前に期間を設けさせていただいて、本市の方と団体さんの方とで、意見交換をさせていただきながら一緒になってこれは制度設計をさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>ただ我々としてはまずは見れるように、空いてるところが見れるようにしていけるというところから始めていって、ルール設計を、併せて一緒にしていけるというふうにしていければというのが、今決まっている段階なので、また今後、具体的にどういうこれまでシステムが、入札をかけてどこの会社のものになるかわからないという状況なので、どの会社とやっていくのかと、わかっていたうえで意見交換させていただければと思っています。</p>
-----------	--	---

<p>15</p>	<p>一番疑問に思うのは、どうして現在の市民総合センターの場所では駄目なのか。なぜ南中に移さなければならないのか。現・市民総合センターの場所はすごく便利で皆さんが来やすい。南中に持っていくと、交通の便の悪さとかいろいろ言われている。お年寄りの方が来られるのに歩いてこられたりとかされるのに、現・市民総合センターの場所ならバスも停まるし、ちょうどいい場所と思う。</p> <p>市民総合センターの中に、市役所とか全部あればいいって言うならば、今の場所で市役所と、この市民総合センターが、この場所であることに何の問題もない。なのに、それをわざわざ南中に移す。それもいろんな危険性を伴う活断層があるって言われているのに、活断層の周りに建てなければいいと思う。利用する方もやはり不安だと思う。</p> <p>そういうこと考えたら、この時点でこの場所が一番良いので、ここに公民館と市民ホールをそのまま作ればいい。保健センターについては、市役所と一緒にしたほうがいいと思う。市役所に保健センターを移して、その跡地全部を使って、すべてのものをつくれば、それが一番の解決方法であると思う。</p> <p>南中にこだわりすぎると、かえってなんか話がややこしくなっているような気がするが、どうか。</p>	<p>その意見も僕はすごく可能性あるご意見というふうに思いますし、様々に、我々検討を示していくにあたって、そういう案も当然ありました。最終まで残った案の中にもありました。</p> <p>ただ、この地域にお住まいの方にとっては近いってご意見あったんです。それはどこかに動けば近くなる人と遠くなる方がいらっしやるので、一概には言えないと思います。我々として、ここが絶対駄目というそんなふうには思っておりません。なぜなら最終の3案まで残っておった案ですので、決して最初から検討していない案というわけではないです。その上で考えさせていただきたいのは、やはり老朽化全体の対策を考えていく上で市民活動センターであったり、福祉コミュニティセンターであったりとか、たくさんまだ耐震化が終わってないものは、なるべく早く移転させていただきたい。</p> <p>こちらの市民総合センターについては、確かまだ40年弱なんですが、一定老朽化が進んでくるというのは、ご理解いただけるのかなと思います。例えば図書館とか、結構雨漏りがしてしまったりしています。あおぞら子ども園、特にあおぞら棟の方も非常に老朽化が進んでおりまして、どうしていくかという考えが出てきます。一定、いろんなご意見、アンケートとかもとらせていただいた中で、今後20年ぐらい経つと、いま頑張ってる人口は増加傾向にありますけれども、それでも子どもの数が少なくなってきた場合に、公立園、いま二つあるんですが、二つとも必ず維持するってすると、民間園さんにご迷惑おかけすることになります。そっちの定数との絡みが出てきてしまうと、その場合に公立園として一つ残そうと思ったら、やはり西部地域の一定真ん中辺りに、持って来させていただきたいなという思いがまず一つ。</p> <p>2点目がこの場でやるというのも当然できますが、例えば1年とか全く利用できない期間があります。その場の改築というのはその場でやることになりますので、本市一つしかない以上、一定期間その場でずっとやるというものに関しては使えない期間が起こります。</p> <p>平等性の観点から、あおぞら子ども園を中心部に持って来させていただきたいとか様々な観点の中で、今はこの案とさせていただいてますが、今おっしゃっていただいた案も、本当に最後まで残っていた案の中で、我々としては決してありえない案と思っておりません。</p> <p>なので、この5回の意見交換会を経て、今のようなご意見も踏まえながら、最終的には柔軟な案にさせていただきたいなというふうに思います。なので絶対できないということではなくて我々もその案もあるなというふうには思っています。</p>
-----------	--	---

<p>16</p>	<p>文化の問題はソフトとハードがある。大体、ハードの話が重点で、建物がどうのこうの、それとイコールにソフトが大切。それは先ほどの方の話にありましたが。やはり基本的に700には、700の文化がある。なので、削ったら駄目である。というのは、同じような人口で、交野、それから泉南にもある。やはり、600以上。ただ建物の構造は別の話ですよ。</p> <p>もう一つ。四條畷は文化の定義がない。だから、こんなことが起こる。四條畷としてまず定義を決めなければ考え方は纏まらない。それからいろいろ知恵を絞ったとしてもね、企画の問題。どれだけ集約化しようが300だと対象外。やはり収容としては700いる。</p> <p>財政力、文化力、教育力、この三つの状態を、近隣の市町村で比較してプラスかマイナスか。こういう面から見ていくと700切れば劣勢やし、他市からいろいろ人が四條畷に移り住もうと思えば、やはり平均を保つ必要がある。</p> <p>ハードの問題だが、現・市民総合センターの位置でいいと思う。私の調べた話では、築40年以内やったら改造の対象になるらしい。話が新築、新築の話ばかりで、改造すれぽうかと。</p> <p>整理していうと、ハードでは新築ばかり考えず、改築でいい。ただし、水漏れと、耐震はきっちりしないとイケない。</p> <p>去年の6月の北部地震で、関西の地震の考え方がガラッと変わった。活断層の上には、地震が発生しなかった。その近くで発生した。ということは四條畷には3つも活断層あれば、ここは大丈夫とか、ここが安全とか、そういうこと言っていられないということを前提に、物事を考えないとイケないということが一つ。京都大学に行けば活断層に関する建物の考え方、それから防災研究所もある。それから地震研究所もある。そこに聞きに行かないとイケない。京都大学には活断層の近くの建物はどうしたらいいかというノウハウがいっぱいある。それを参考に、次の検討までに職員が分担して調査に行かないとイケないと思う。そういうことが、2点目。</p> <p>それに関連してもう一つ市民としては考えなければならぬことは、市役所と保健センターを集合する話。これは便利だが地震を考えれば、これは逆である。建物は分散しないとイケない。活断層は、四條畷のどこにあるかわからないから。こういう事を私は数回同じこと言っている。去年の6月からのあらゆる考え方を前提に、いつでも地震が起こるという関西だということで、教育計画も、建設計画もこの文化計画も、全部洗い直さないといけないし、専門家に聞きに行く必要がる。あとは財政上見た答えが必ず出てくる。</p>	<p>確かにパブリックコメントの方でも種々いただいております。我々もお示しの通り、具体的にどう考えていくかということは今後、専門家の方とか有識者の方の意見もきっちり聞いた上で、どういう建物ならばいいのかどうかとか。お示しのおり四條畷は活断層がたくさん走っていると同時に土砂災害警戒区域も南中跡地だけでもないですし、また寝屋川もあるので浸水地域もたくさんあって、液化化がしやすい地域もたくさんあります。なので実際のところ、地震や大雨、浸水、土砂といろんなところでいろんな可能性が起こりますので、この要素が大丈夫だから、そこが必ず安全かということはいきり言えない。ただ、四條畷の中で本当に安全性が高いところ、公共施設を建てられるだけの土地があるのかということ、そういうわけではないと思います。我々の中で比較していった中で、他の場所よりは、比較的安全性が高いというものをどう考えていくか。その上で、最終的に専門家の方がどういうご意見を言われるのか、それを加味していきながら決めていくことが私たちとしても、重要だというふうに思っています。</p>
-----------	---	---



17	<p>いろいろ活断層で廃校になった南中跡地に、避難所を含む色々な施設を設けるという矛盾。そのことについて、これはほとんどの方が矛盾ではないかと思うのは当然。そこを一定きちんとした考え方を持ってもらいたい。</p>	<p>そもそも当該南中学校については、四條畷のその西部地域にある四條畷中学校、西中学校、南中学校の全体の中学生の生徒数の減少というものに、どういふふうに対応していくのがいいのかというものの中で検討を重ねてきたところです。その中で、やはりすべてが小規模校化というものに対して、いろんな子ども達の教育環境というところによりよい教育環境にしていきたいという思いの中で、最終的な判断をさせていただいた時に、南中学校が廃校になる際にですね、その地域の方々にとっては非常に大事な場所になるので、一定の避難所機能も含めた機能を持つ施設を建てて欲しいというのがまず住民の皆さんも入った審議会の中からいただいたご意見なので、どちらかという住民の方々がやはり土砂災害警戒区域から外れたところには、せめて何かないと、避難の時とかに国道 163 号を渡らないといけないとか、踏み切りを越えないといけないとかいう状況が出てくることを防ぐために、避難所という機能も含めて、一定コミュニティ機能もある施設をとというような声を受けて、今回の案を検討させていただいているというような状況です。</p>
----	--	---

全体のことだが、施設の建て替えが必要だとか、耐震ができてないから必要だとか、それは当然よくわかること。その上で、いろんな公共施設を全般的に移動も含めて改築するというふうなことについて、いわゆる四條畷の町全体のまちづくりの変更、大幅な変更ということに繋がっていると思う。そういう規模のことについて、いろんな市民が、いろんなところで集まって、自分の町の問題として考えていく。市から提供されたことだけをいいか悪いかということではなく、自分たちにとって本当の住みよい町にするためには、いろいろな公共施設の配分はどうかということも少なくとも1年くらいの期間をかけて話し合う必要がある。話し合っただけで、納得できる自分たちの町について、自分の意見もきちんと意見を出し合えたと。そういうことが無く、今は市から提示されたことについてどうかということなので、矛盾が生じていると私は思っている。

1年かけてまちづくりについて、じっくり自分たちの問題として考えていく。そういうことがなぜできなかったのか。市からの一方的な提案について、基本的には質問程度しかできないという現状そのものが、間違っているのではないかとこのように思う。

19 平方キロメートル弱しかない本市と言えども、やはりたくさんの方々の施設があって、これだけ大きな影響を及ぼすときは、多くの方々の意見を聞きながらやっていくべきと。私もその通りだと思います。ですので、説明資料の3ページにはなるんですけど。平成28年4月に意見を多く聞くためのアンケートを行い、そのあと少人数で深い議論をしていくと。今おっしゃっていただきましたが、そのワークショップというのを、5月から9月というふう開催にいただいて、また住民の代表の皆さんである市会議員の皆さんに、特別委員会を開いていただいて、大きな方向性、考え方というのを整理させていただいた上で、去年の8月から10月に、ワークショップこれも少人数でやらせていただいた後に、10回の意見交換会を2回重ねさせていただき、今ここに至っているという状況です。

なので、今ポンと出てきたということではないというふうに思っております。平成28年のアンケートから順にたくさんの方から意見をいただいています。また説明資料の中で25ページの方からはどういうふうにしていきたいかということですね。この右側の部分ですね。これはアンケートであったりとか、ワークショップであったりとかっていうところで頂いた意見を参考にしており、決して市だけで考えてポンと出てきたということではないと思います。繰り返しになりますが、我々としても当然かけられるだけ時間をかけていきます。これも本当に大事な考え方と同時に、おっしゃっていただいたその耐震がまだできてないというものも急がないといけません。このジレンマの中で、4年から5年ぐらいかけて考えてきたので、そろそろ結論を出ささせていただきたいという思いで、今の意見交換をさせていただいてるというような状況です。ただ理念自体はその通りかなと思います。

19	<p>シビックエリアという形で、国道 163 号沿いに公共施設を集中させる。それは一定理解する。ただ、あおぞら子ども園というのは、いろんな人が通う施設という意味合いよりも、やはり特定の保護者の方が利用される施設と思う。基本的に市域全体で子ども園、幼稚園、保育園が配置されているが、それどころかの地域にというよりも、できるだけ満遍なく地域ごとに近くにあるようにとの配置が原則である。そう見ると、やはり今のこのシビックエリアは、施設がすごく密集している地域になる。そうであれば、あおぞら子ども園を公共施設であるからシビックエリアに集中させるというのは少し特性としては、違うと思う。</p>	<p>シビックエリアという考え方につきましては、多くの方々が多様な機能を持つ複数の集約施設について、確かにシビックエリアに配置していこうという考え方で、まずは子ども園については、多様な方が使うというよりは、特性を持ったお子さんというものを預からせていただくなどの際に、アクセス面において中央域にある方がいいんじゃないかという発想から出てきたものです。確かに全体見たら分散的に配置されているんですが、やはり公立園が北に二つ偏っているという意見は、たくさんいただくご意見でもありますので、それらを加味して考えさせていただいたところになります。</p>
20	<p>今まで聞いてきたいろんな話として、市長は市民総合センターを建て替えて市役所を作ると。それで、この市民総合センターが使えなくなるっていう話が巷で広がっている。今日はそういう話もあるのかなと思って寄せてもらった。やはりサークル活動や、年間行事をみんな頭に入れながら、みんな活動して、それが一つの生きがいになっている。また、それをするによって人の横の繋がりにもなる。さっきから話聞いていて、なぜもっと住民からっていう話もあったが、ワークショップとかそういうことがあることすら今日初めて知った。何年もかけて話をされてきたという話も初めて聞いた。</p> <p>南中が廃校することに関しては、その保護者の方から署名運動してって言われたから、署名運動に参加させてもらったが、今回のこのような話になった時に、南中に通ってはるお母さんやら、お孫さんのおばあちゃんね、お孫さん通っていた人たちは、すごく市長に不信感を抱いているし、すごく憤りを持っている。やはりこの計画を進めるにあたっては、しっかりと民意として受けとめて、それを払拭した上で、前に進まない、この形では、私も市長に不信感を持っているし、安心して住めるところではない。そういう意味では、若い人たちが転入している反面、幼稚園くらいから転出する人も正直多い。引っ越ししていく人も多い。巷のうわさはすぐ広がる。市長がこれだけの話をして、こういう資料いただいても、説明会に来る人は一部やから、その一部の人がみんなに、それだけの疑問を理解させることはできない。今後その辺をちゃんと考えてやっていただきたい。しばらくは使えるということだけか。いま使っている施設との整合性のあるやり方は、市だけで考えるやり方か。</p>	<p>最後のお話いただいた部分については、今回のこの公共施設の再編の話とは違うというのは、ご理解いただけたらと思います。それとは別に団体さんによって、施設の利用できる範囲とか、状況が違うというところは一定整理が必要ですので、それを整理させていただきたいというお話です。それは長くて来年度末までかけて、丁寧に議論させていただければというのが最後の質問の答えになります。</p> <p>その上で対話会も捉えていただく方によると思うんですけど、一方的でと聞いてしまうとつらいなという思いで 3 分の 2 は質問の時間とさせていただいているのかなというふうに思っています。ただ全体の中で、確かに行政として発信していることと、市民の皆さんに伝わっていることで、差異が生じてしまっていること。これは我々としても、こういう意見交換会を通じて理解してます。その上で、やはり広報誌のみならず、可能な限りのツールを用いて、できる限りのことはやらしてはいただいております。その中で我々としての思い、考えがもっともっと伝わるように説明をする機会を、しっかりと今後も確保し、そういう誤解が伝わらないように、一方的に伝わらないようにしていけたらいいなというふうに思います。</p>

<p>21</p>	<p>先週の水曜日にも出席した。その時に、市民ホールを 300 人にし、利用率を上げていきますという説明を受けて、説明に対して根拠を示してくださいということを質問した。市長から根拠ありません。ということで回答をいただいた。その時に私の方から説明会で根拠がない話は、行政の方から言わない方がいいのではと提案させていただいた。それを受けて今日参加したが、今日も同じ説明をしていた。1 週間経ってないが、この間から今日に至るまで、示せる根拠が出てきたのか。または市民の声を完全無視で同じような説明をされているのかどちらかと思うが、ご説明いただきたい。</p> <p>もう 1 点が、今 300 人のホールだが、いろんな団体に所属しており、講演会等々出させていただいている。その講演会に出席をしたり、企画する中で、市の中でやる講演会等々はアリーナの多目的室 300 人のところがあるので、そこでしている。ただ北河内の担当市なった場合に、300 人じゃ収まりませんというとき、このホールを使っている。300 人のホールにすれば、幹事市等になった時、他市に会場を頼まないといけなくなる。こういう時に選択肢があるのは大事だと思う。実際に、いま南中の跡地に複合施設を建てようと思うから、300 人になってしまうと思う。車いす席のあるホールは、駐車場等を減らせば、今のホールでも出来るのではないかと思う。</p> <p>毎年私 10 何年間ここで成人式の警備をさせていただいている。晴れ着来た子ども達がパイプ椅子に座っているところ想像してほしい。誰がこの町で子育てしようと思うのか。やはり今のようなホールで、晴れ着来た人たちの門出を祝ってあげたいという気持ちが当然ある。ある程度の必要な部分はキープしていただいて、かつ利用率を上げて 700 人、800 人のホールが満杯になるイベントができるかっていうのを考えて欲しい。</p> <p>最後にもう 1 点。忍ヶ丘駅のタイムズに図書館と施設を作りますっていう話。あのタイムズは利用させていただいている。あそこは代替えの駐車場がない。結構不便になると思う。年に数回、貸しきってイベントもやっているみたいである。四條畷の活性化のため、あそこを利用される方多いと思う。利便性も損ない、イベントをどこでやるのか。路上駐車も増えるのではないかという懸念もある。西側のロータリーは、バスも入らないロータリーで、タクシーも来ないタクシー乗り場があるだけで、ラッキーの駐車場みたいになっているような便利が悪いである。それに加えて駐車場もなくなってしまえば、廃れていくのではないかっていう懸念がされます。やはりあその駐車場は残した方がいいと思う。</p>	<p>忍ヶ丘駅に関して、誇りは岡山の方々の多大なご尽力があって駅が設置されてですね、今あのような構造になっていること、これは本当に地域の方々と様々な事情の中で、今の状態になったと思います。おそらく当時はいろんな事情があった中でのご判断で、それをもって今とても使いにくいって言うことは、私は非常にづらいなという思いではあります。そのうえで活性化のために、本当にたくさんイベントをしてくださってる方々もいらっしゃいます。説明の資料でいくと 23 ページにも書かせていただいていますけど、やはり利用の緩和というところで使える空間をなるべく発想豊かにして行けば取組をする場所がないということはないと思います。ただ、駐車場の観点についてお示しの通りだと思います。今後もし公営保育ステーションにするなら、まずロータリーの道路構造自体を考えないといけないという問題も出てくると思います。そういうものはですね一定駐車場所の確保とも踏まえて、どういうふうに利用していけるかを考えていけたらいいと思います。</p> <p>次に、北河内には 7 市あり、いろんなものが輪番で回ってきて四條畷が担当になると。順番回ってきてそれを立派に果たすことは大事なんですけど、北河内の中で一番小さい町であるというのが事実だと思うんですね。いま 1 市だけでできないものをこれから広域でいろんな市と一緒にやっていこうという考えで、1 円でも浮かして他の政策に使えるようにしていこうというのが今の主流にしていかなければならない考えかなと思うので、一概に 1 市で 1 個全部持って行かなくかんという考えは、難しいかなと。</p> <p>そういうことではなくて、まずそもそも市全体として箱物にかかる予算の上限があるんですね。ページ数で言うと 19 ページにお示しさせていただいてるんですが。どういう配置になろうか、学校や幼稚園の整備や、福祉事業など様々なものにお金を回したいとなれば、やはり箱物にかかるお金はここまでにしたいんだと思う中で決めてるので、南中の面積ありきで決めてるのではなくて、どういう配置になったとしても全体の規模というのは、人口に合わせて最適化していきたいという考え方です。位置の話と、規模の話は別の話です。あくまで箱にかかるお金は最小にしたいというのが僕の思いです。</p>
-----------	---	--

22	<p>成人式の話と、市民ホールの規模縮小に伴う利用率の向上についてお答えいただきたい。</p>	<p>成人式には、2回ほど出させてもらっていて、四條畷の成人式はほんとに泣きそうになるぐらい良い成人式だなんて毎回思うんです。それは本当に青少年指導員の皆さんとか、やはり各学校の先生方が長年そういう指導されてきたから、今のよう成人式になってる。それは十分わかってます。ただ四條畷だから、一つでやってるんですが、他市は結構中学校単位ごととかでやられている市があるのも事実ですね。やはりそういうことを考えていくと時代に合わせてやると。成人式を理由に座席数があるっていう考え方っていうのは難しいかなと思います。</p>
23	<p>市民ホールの規模縮小に伴う利用率の向上についてお答えいただきたい。</p>	<p>今回、5回意見交換会をさせていただいておりますので、説明内容が1回目と5回目で変わっていくっていうものではなくて、初めて来てくださっている方もいらっしゃるんで、指摘があっても途中で行政側の説明、事務局からの説明を変えるということはないです。</p> <p>ただご意見として伺ってます。根拠の部分は、我々としてはこの8ページの方に記載させていただいてるところで、これが、我々が今言える限りのものかなというふうに思います。今利用されている方々、新たに利用される方々にとっても、どういうものかという視点を設けた上で、いわゆるユニバーサルな形にしていくことでより多くの人に利用されるようになるんじゃないかなというのが、我々の考えですが、根拠があるのかと言われてしまえば難しい。先ほど、箱の話と、実際にいわゆるソフト面ですね。どういうふうにご利用していくのか、我々としては、より多くの方が使ってもらえるようなその中身の設計ですね。ここについて一緒にご協議できたらなというのがお答えになります。</p>
24	<p>同じ説明をしないといけないというのはわかる。実際、300人ホールにしても利用率が上がるかわからないということは、300人にして利用率上げていきますというのは虚偽説明ではないのか。説明会に来られた方で、300人したら利用率が上がると思ってる人がいると思う。そういう説明はやめたほうがいいと言っている。</p>	<p>行政としても誤解を招く表現をすべきじゃないというご指摘は、その通りだと思います。ただし、我々がどういう説明をしているかというところでいきますと、「利用率を高めたいと考えています。」なので、ここも議論し始めると、言葉の論争になってしまうんで、ちょっとそこは避けたいなと思いますが、ここに関しては、そういう誤解を招かないよう、ちょっと考えさせてください。</p>

25	<p>南中跡地に市民総合センターを持っていくのは絶対反対である。</p> <p>市民総合センターだけでなく、教育文化センターも歴史民俗資料館も福祉コミュニティーセンターも楠風荘も全部南中の跡地に持っていくのは反対である。なぜか。今ある場所で、市民の皆さんは定着しているから。市民の多くが場所を変えて欲しいと、南中跡地に持って行って欲しいと、そういう要求があるのか。ないでしょう。それに加えて、南中跡地というのは、活断層がある。南中の廃校の時に、当初、活断層を理由に持ってこなかった。老朽化が理由なら建替えれば済む。小規模校。いま学力世界一と言われるフィンランドは小規模校である。子ども達の人数が少ないから、先生が一人一人の子どもがよく見える。市は小規模校の先生大変だと言うが、市長に聞くが全国市長会で、もっと全国の学校に先生増やしてくださいと、安心して、先生が教育活動できるように全国市長会で言ったのか。言うてないでしょ。それからねじれの問題。それこそ地域の方々とよく相談して、最小最大公約数のやり方をとったらい。だからそういう小規模校や、ねじれや老朽化の問題では、なかなか説得できない。そこで、活断層なら市民が納得せざるをえないだろうと。それで市長は言った。こんな危ないところに、子どもを通わせていいのかと。危ないところに、市民総合センターや教育文化センターなど全部持ってくる。論理矛盾じゃないか。おかしいと思う。</p> <p>それから田原小以外の小学校プールを廃止して民間プールを活用する。それから忍ヶ丘あおぞら子ども園を市民総合センター跡に移転するとか。それから、地域福祉センターつき園の廃止とか。全部言いたいことがある。時間がないので言えないが。</p> <p>ちょっと思い出していただきたい。廃校問題が出たときに、南野の方が猛烈に反対した。署名活動までして、南中残して欲しいと。市民意見交換会ありましたが、その意見で出された意見を聞くだけで、実際は逆の事やった。私は思います。四條畷市政に民主主義があるのか。民主主義があるなら、市民の意見を聞くというのだったら、その意見の中身を反映するのが市政じゃないのか。そういう点では、今やろうとしていることは、全然市民の意見と違うから民主主義はない。</p> <p>ちょっと嫌なこと言いますが、当時の市長のやっていることよりも、今のあなたがやっていることがもっと大変だと思う。あなたはこんな状態を望んで帰ってこられたのか。裏切りだ。はっきりこれ裏切りである。市民を裏切ったらどうなるか。考えてほしい。</p>	<p>市民の意見の反映というところについて、冒頭申し上げたことになるんですけども、これが決定という説明をさせていただいてるわけではなくて、今回の意見交換会で聞かせていただいた意見を踏まえて、最終的に市として一つの案に絞っていくと。それでやはり市全体にとって持続可能なまちづくりをしていくには、これが最良じゃないかというのを考え抜いて、示させていただきたいなと思います。もしかしたら、このやりとりが冷たいというふうに関心されるかもしれませんが、何とか未来に予算をしっかりと残していきたい、持続可能にしていきたいと思いがあるといのは、お伝えさせていただきたいと思います。</p>
----	--	---

26	<p>手話サークルの者ですが、市の方からこういう説明会がありますよという形でお手紙をいただいて、今日参加している。いろんな施設を使うという形や移転の影響などでいろんな問題があると。ある程度は意見交換会で理解できたというところで、この公共施設の再編ということは1番目に、何が目的なのかということ。いろいろな細かいことあるだろうけれども、大きな点で見たらなんなのか。</p> <p>それから2番目としては、市の市政を100%とするならば、この公共施設の施策は、何%なのか</p> <p>それからこの公共施設の再編をしたら、我々の生活はどれくらい良くなるのか。そういうところを知りたい。</p> <p>最後に四つ目としては、市民の視点に立っていただいて、市民がこれをこうしたら喜んでくれるかな。そして我々としては、若い人も、年配の人も楽しく暮らしていけるような形で、それを結果として残していただきたいと私は思っております。以上4点をお願いしたい。</p>	<p>何が目的というところから、どれぐらいの市政の比率になっているかというところですが、これが一番大きな質問なので、それを最初に答えさせていただきます。いっぱい書かせていただいてややこしいかなと思うんですけども、目的に関しては、もう本当に持続可能なまちづくり、これが一番です。20年後も30年後も40年後も50年後も四條畷市は続いていくわけなので、どういうふうにして実現していくのか。今僕ら世代がよく暮らせることも大事ですが、10年後も20年後もここに生まれ育つ四條畷の子どもたち、市民の方にとって、しっかりと生活をしていけるというようなことをしていくというのがまず根幹にあります。</p>
----	--	---

27

四條畷市というのは、昭和 45 年 7 月に市政を敷かれた。3 万 7000 人の少ない町から特例法により非常に厳しい財源の中でやってきたのが四條畷市である。当時の施設は、都市的な整備プランというのは、バランスを考えない、将来を考えない。いま気がつかれて、いわゆる南中という空き地の中に、そういう施設を持って行って、職員の数も減るだろうし、それぞれ勝手が使いやすくなるだろうと思う。だからそういう形で、明日の四條畷を考えると、19 ページにあるように施設を持っていけば、これから毎年 5 億円を払っていかないといけない。しかも老朽化していく。その設備費だけでも大変だと思う。そうすると一つのところでまとめて、そこで社会教育をやっていく。そして一番は、やはり子どもや孫の時代は、本当にこの町に住んでよかった、来てよかった、これからも住みたい。そんな街をつくるとするなら、社会教育に力を入れて南中の跡にそういう施設を作っていく。そういう勇断が必要だろうと。本当に今の状況でいけば市は潰れていくだろうと。私はそう思う。

ただ体育館については北河内の大会がある。その施設だけは守って欲しいというふうに思う。しかし、いらぬ費用もあるだろう。それをどんどん考えて欲しい。それは四條畷の将来構想だと私は思っている。そういうことを市長はやらなくても市長でいれる。でも子や孫の時代はどうするんだということ考えると、勇断持ってやっておられるなというふうにいま私は思っている。なので、市民もある程度協力しながらやっていかないと、どっかの市のように国から援助してもらおうと。そんなふうになっていこうと私は思う。そういう意味で、いま使っている市民総合センターよりもはるかに使いやすい、あるいは職員の数が少なくなるだろうけども、いつでも使える。そんな市民総合センターを作って欲しいということをお伝えする。

ご意見として頂戴します。



今日初めて意見交換会に参加させていただいたけれども、東中野の方に住んでいて、以前にも回覧板で2回ほど意見交換会があるっていうのは確認している。いま皆さんおっしゃっている意見と違うと思い、一応私は知っていましたよというのがある。

ひとつ確認したい点が、この意見交換会は、施設の老朽化の対策及び経費削減をするために、施設を集約化し市政をよくするための計画の意見交換をされる会だと思っていた。施設に維持費は、どこから貰えるお金ではなく、実際に市が負担しないといけないというのは確かだと思う。なので、やはり出すのは私たち市民の税金であり、市の職員たちの経費を抑える努力であつたりとかっていうのであると思う。なので、当然だが、私たちの身を切らないと市政が良くならないと思う。40年代に建った建物の修繕は必要である。その修繕費はだれが出すのか。そうなれば狭い所に移ろうが、借家に移ろうが、しないといけないことはしないといけないと思う。これ市の職員たちが私達に言えないことだと思う。市民の生活に直結するサービスを減らさない為には、なにか別のものを減らさないといけない。それが、公共施設の維持費を減らすということだと思う。私たちが自分でしないで、あなたが悪い、あなたのせい。それはおかしいと思う。

それと子ども達。私たちはもういい。この計画始まったって、あと10年以上はかかりますよ。私はあと10年でその施設をヨボヨボしながら抱えていくっていうのじゃないと思う。若い世代がそれをしてくださるのだと思う。ならば、そこに子どもさん育てるだけの力を蓄えておいてあげて、それが何かって言ったらやはり市の力だと思う。私ここに来て、なんでみんな突き上げだけを言うのというふうに思ってしまったので、ちょっと意見を述べさせていただいた。

それと一つ先ほどのQ&Aの7ページ。1000弱のホールの全国の利用率で四條畷は26.9%ということだったが、300規模ならば、全国の稼働率はどれくらいか。

席数については、今ちょっと確認したんですけども、全国平均のデータはありますので、また調べさせていただいて、明日以降また或いはどこかしの形でお示しできればと思います。

29	<p>東小に青少年グラウンドを持ってくるという話が出ている。今問題となっている南中には、我々地域としては避難所となる体育館と、滝木間公園の中にある自治会の防災施設がある。体育館の一部にそういう施設を作ってもらいたいというのが僕の考えである。</p>	<p>滝木間の防災倉庫の件については、別途地区の方から要望という形で南中跡地ではなく、東小学校跡地を活用した形で検討できないかというふうに理解しています。いずれにしても、公共施設の再編が確定した後に協議させていただきたいと考えています。</p> <p>市民総合センターの話については、本来であれば駅前に公共施設を集約した方が利便性が高いと考えるが、南北に駅が分散している以上、どちらかの駅に偏りが出てしまうこともあって、市域の中央部分、この辺りをシビックエリアとして多くの方々が集うような施設については再編させていただき、また図書館とか公園というものは各地域に歩いて行ける場所に分散をさせていきたいという考えなので、このエリアの方がほしいからどうというわけで配置しているわけではないです。</p>
30	<p>Q&amp;AのQ11のアンサーの最後の部分で、施設を整備すれば安全に使用することは可能と聞いておりますと、他人事のようなコメントがあるが、これではいけないと思う。A12についても徳島県の例を書いているが、四條畷市長はどう思っているのか、どう責任を取るかと言うことをきちっとしましたら納得してくれると思う。その踏み込みが不足している。</p>	<p>学校については、最大の子どもの数の時期から比べると半数になっている。教育委員会として小規模校化を解消したいという思いがまず1点、施設が老朽化してきている最中、安全安心に通えるように改修していきたいという思い、校区がねじれていると一つの小学校から2中に進学する状況になっていると。この3つが子ども達の教育環境にとって緊急課題であるというような考えから、教育環境を進めていこうというのが行って10年ぐらいの歴史の中にあっただのかなと思います。私としては、国道163号以南、そしてJR以東のエリアに関して土砂災害警戒区域近くにあるとか、断層があるとか言っても避難できる施設すらも建てていかないということではなく、一定活断層から距離を取ったところに堅牢だと思える施設、これをきちっと建てていくことで、地域全体の安全につなげていきたいという考えです。責任の所在については、最終的に専門知識を聞いた上で判断は私が下すわけですので、これは私が責任を持ってこの地域に必要な施設を設置していきます。</p>
31	<p>活断層があるということで、南中はなくなったと思う。そこに小学校だったらどうだという議論もあったが、その際に教育委員会はそういう近場の所では、いくら離れても建てないということであった。土砂災害の所についても、危険だと言うところで、一切建物は建てないという話があった。6頁のQ12については、すり替えられていると私は思う。時間経過の流れで、市の態度がちょっとずつ変わっていると思う。</p>	<p>市として態度を変えていっているというよりは、学校の配置として教育委員会として考えるときは考えるけれども、市としてはそこに施設を残していくというか、災害の対応を預かる身としては、避難所がないと言うことは考えられないので、堅牢にしても残していきたいという思いがあります。最終的に有識者が責任を取ってくれるわけではないので、私の責任をかけてやらせていただきたいというふうに思います。</p>

32	<p>市民ホールが活断層という問題となっている所に、300席になるということで縮小すると言うことである。713席ということで中途半端であり、設備の不備、いろんな形で制約があつて利用率が低いというふうに出された。東灘区の阪神大震災で被災された方が、道路が寸断されて市民ホールセンターがあつたので、そこに避難した。そのような利用方法もあるのに活断層で危ないという所に集約してしまう恐ろしさ、集約することのないように。また、市民総合センター移転後は市役所が来る。市役所跡地は更地にすると聞いている。避難所にも連携するような形をしてもらうべきではないか。</p>	<p>集約の考え方についてですが、行政として最終複数案の中でこう残っていた案でも、これが決して無理とか、できないとかそういうことではない。いずれにしても、市民総合センター、市役所がそのままいいんじゃないかというご意見も私自身受け止めさせていただいているのでこの5回の意見交換会を経て最終的に検討の結果を示させていただければと思います。</p>
33	<p>これだけの反対意見が出ていると言うことも認めていただいて自分の意見を述べてほしい。自分の選挙演説ではないのだから、市民の方がどう思っているのか心にとめていただかないと。消化不良を起こすような人間にならないよう肝に銘じて行っていただきたい。</p>	<p>私の内容の説明について受け止め方かなと思います。これは私の意見ではなく、これまで行政としてアンケートや意見交換会でいただいたものをすべて集約した上でお伝えしている。今回の案件については、12億円かかるのを7億円程度にとどめることで持続可能なまちづくりをしていきたい。</p>
34	<p>1点目がハード、ソフト面でこの公共施設の再編というのは課題、方針を紐解いてすごい楽しみだなと思うが、箱ができて人間味がある計画、書類としても人間味がもうちょっと見えればと思う。</p>	<p>我々も当初はこんな風にしたいなという思いはあつた。しかし、まず全体の計画がなければ次のステップに進んでいけない、どうしても最初は位置とか面積の話になってしまうので、すごく無味乾燥な印象は拭えないと思います。今、議論になっている所について、次のステップくらいで一個ずつできたらいいとわかった上で、そういう状況もあると言うことをご理解いただきたいと思います。</p>
35	<p>市が未来を考えた上で、どういった世代の人たち、属性を持った人たちに来てほしいと思っているのかなと言うことを伺いたい。</p>	<p>まず四條畷に住んでいる方と将来の四條畷の子ども達にとって何がいいかというのが最初だと思います。市民の皆さんの声を一番大事にさせていただきながら、きっちりと対外発信もさせていただけたらと思っています。</p>
36	<p>子育て世代の人たちで集まって市長と話せる会というもの一つもうけてほしいと思う。</p>	<p>第2回の意見交換でも、学校や保育所を通じて通知は出させていただいたが参加者は少なかった。子育て施策に関しては必ずアンケートを採らせていただいているので、そのようなことを通じてこういうものに反映させていただくのも一つかなと思います。ただ、多様な方の声はきっちりと聞かしていただき活かしていきたいと思います。</p>
37	<p>3000年に1回0.1%の確率で発生する生駒断層が怖いと言うことをPRすることは非常に危険な発想である。土砂災害警戒区域についても、南中の地域で30cmである。そこは理解をちゃんと深めていただきたい。また、同じ税金を支払っているのに、この南野地域に少し施設を作っていただきたい。</p>	<p>PRということではなく、起き得る可能性も踏まえた上できっちり対応できるような市の組織体制を取っていきたく思います。ただ、お示しの通りだと思います。土砂災害の部分は、確かに堆積する高さ等もある中で国としてもお示しいただいているエリアに関して、新しく建てていくという所は可能であれば本市としては避けていけたらなと考えです。また、市域の公平性については、まさにその通りだと思うので、市域全体の最適をめざしていきたい。</p>

38	<p>移転することについて、基本的に使えない時期がないようにと言うことで説明されたのを聞いている。基本的にはそれで良いと思うが、移転せずにその同じ場所に建ててほしい意見もあったが、そうだったときのコストとかの比較があって、そっちの方針でまずはという説明なのかと言うことを伺いたい。</p>	<p>その場で建て直すとなると使えない期間があるというのも要因の一つですが、現地での建て替えとなれば、仮設建物を建設したりとかというのは出てくるかもしれない。今出せる予算を計りつつ、時々に合わせてそれをきれいに修正させていただく方式を考えているので、それを主要因で場所を決めている訳ではないというお答えになる。</p>
39	<p>現在あるものを移すと言うことはとても反対意見が出てくるのは当然であり、全体を見た中で一つの施設がそういう形で移転するとご判断いただく、本日の説明を聞いて理解できた。</p>	<p>行政としては、いただく個々のご意見もしっかり受け止めさせていただいた上でお示しの通り、最終的には全体を見て判断させていただけたらと思います。</p>
40	<p>Q11の下から2行目なんですけど、活断層からなるべく離し、土砂災害警戒区域を外した場所にと記載があったが、三田村先生のコメント3点からは、このようなところはなかったと思う。我田引水的な、ちょっと虚偽ではないかなと不安があるが、また調べてほしい。</p>	<p>三田村先生の部分については、しっかりと検討させていただいて必要な修正をさせていただければと思います。</p>
41	<p>四條畷中と忍小の小中連携棟工事ですが、あの工事は契約方式が不自然だったという風に聞いたことがある。この計画もPPPを使うとかいう風な話も聞いたができるだけ一般競争入札でコストを下げるように審議していただきたい。</p>	<p>基本、建物に関しては、一般競争入札でやっていくと、これは基本的な原則として必ずあるのかなと。これは大原則とおきながら、施設の特徴があるので、それに応じて一番有利な形を選んでいけたらと思っています。ただ、お示しの方向性としては、そういう方向で進めていきたいというふうにおっしゃるとおりです。</p>

<p>42</p>	<p>この案は急に上がったものじゃないと思うが、前市長の頃から同じような案があり、市長は選挙の時はこれに反対されていたと思う。前市長ももともと東小学校1校潰すのでさえ猛反対していたのに、市長になったら急にこの案を出してきた。さらに東市長も市長になったら、どこが変わったのかわからんくらい変わってないこの案を急に出した。なぜこの案にこんなに固執するのか。</p>	<p>公共施設の再編自体は、4年5年と積み上げてきたことと思います。お示しの通り平成10年近辺から四條畷としては、一番財政が苦しい時期がございました。そういう時期を越えて、今があるわけですね。その時に行ったのは職員数の数を減らすとか、給料下げていくとか、そういうことを経て今に至ってます。</p> <p>大事なのはその時期でございまして、こういう大きな建物ってというのが、40年50年経とうとしてるんです。しかし、まさに本市が一番赤字で苦しかった時期に、実はその中規模改修等をしなければいけなかった時期だったんです。ただ、お金がありませんので、先送りしてきたんですね。維持補修だけでもかなり費用は上がってきていると。幸い、借金がたくさんあったっていうことは、この直近大きな投資をすることができなかったの、市が抱えて来てた負債自体は、年々減ってきております。</p> <p>ただ財政も大事なので、いま一気にそれをするお金も体力も四條畷市にありません。なので、順番を決めていく必要があります。なので、市役所は最後です。子ども達の安全性とか低い耐震施設の耐震性とか避難所というものが確保された最後に出てくるのが、市役所です。教文とか歴史とか老人福祉センターは耐震性で課題があるんですね。なので、お金が今ようやく回復してきた今、後のランニングコストを下げていくために、まさに今、着手をしなければならない。ただ、順番は立ててやっていく。</p> <p>何故かっていうと、一時に整備すると2、30年後にまた負担しないといけない時が来るんです。人口が急増した時に建てた施設を、我々は今それをどう対応していくのかっていうのに直面してます。これから2、30年後先の人に同じご負担をかけないように、なるべく時期を分けて負担を均しながら施設を綺麗にしていって、ランニングコストを下げていく。かつ、どこから優先順位として着手していくのかっていうと、安全性とか、老朽化というところが進んでいるところを最初に着手していく。</p> <p>どうしてこんな一気に全部決めるかって話なんですけど。実はこの個別施設計画っていうものがないと、設計とか今後していくんですが、そういう設計をしていく時に国のお金をもらったり、建てる時に国のお金をもらったりする。その時の前提がこの市全体の公共施設を見据えた計画がないと、実はそういう国からお金がもらえないということになっているので、一旦まず決めておかないと、全部自分たちのお金だけで、また苦しい状態に戻ってしまうので、そうならないように全体の配置を決めています。</p>
-----------	--	--

<p>43</p>	<p>四條畷ってもともと財政再建準用団体に落ちそうならい財政難だったので、お金を使われるのが心配だ。西中の体育館だってすごく立派なものを建てた。こんなにお金使って大丈夫なのっていうのが一番心配。費用を下げるためにと言っているが、破綻するのではと思う。</p> <p>市の職員は建てるものは安く見積り維持は高くかかると言いながら建てたがるが、本当に大丈夫か。例えば西中の体育館は何億で予算が決まっています、本当に、その予算の中で収まったのか。</p>	<p>後半にいただいたお金がどんどん上がっていく。これは現実、今でも起きてます。オリンピックが決まり、万博が決まったのでも入札の単価が大幅に上がっておるという状況です。今なるべく12億円から何とか7億に抑えようとやっても、これがもしかしたら人件費の高騰があれば、費用が上がるかも知れません。我々として今考えられるのは最低限、市として必要な機能、これは必ず残したい。ただ、いま予測できる7億円ぐらいには抑えておかないと単価があがって苦しくなっていくということも見据えて、今この全体計画を立てていると。</p> <p>前市長との違いは何かっていうところなんです、以前はまちづくり長期計画というもので四條畷小学校を集約していくというような考え方がありました。これはどちらかというと、いま四條畷小学校はたくさん生徒数も多いです。別に畷小は小規模校化してるわけでもなかったんですね。東小と南中学校の廃校には、当然老朽化とかもあったんですけども、学校の小規模校化というものにどう立ち向かっていくかという議論の中での廃校を行ったんです。当時のこの廃校というのはどちらかというと、小規模校化がしてないけれども、ここがいいという発想に対し、私は明確に反対だったんですね、別に小規模校化をしているわけでもないのに廃校にする理由はない。</p> <p>施設っていうのは、他のどの施策よりも予算がかかるので、箱にいっぱい投資をしていくっていうことは、私自体、賛成ではないので、やはり箱にかけるお金はしっかり削減しつつ、これから必要な高齢福祉とか子育て政策とかに回せるお金をしっかり生むためにも一定施設の床面積っていうのは、我々の今の人口動態に合わせて調整していかなければならないという考えです。違うところと同じところは両方あるんですが、ただ全体としては今みたいな考え方で、年代に分けて負担を平準化していこうという考え方にはなりません。</p>
-----------	--	---

44	<p>1 個 1 個の施設はそんなに立派なものを作らないという認識か。西中の体育館の調子で全部変えられたら、それこそ市が潰れるのではないかと心配。</p>	<p>西中と暇中の工事自体は、どの小学校もですね、手を入れないといけない時期に来てるのは事実です。それをいま古い順から順番にしていっています。綺麗にする時っていうのは当然その時にかかる額と、その後 10 年、20 年後に借金をして、これを分割払いで払っていくっていう手法をします。なので今この瞬間にどれだけ借金できる余力があるのかっていうのと、その負担をどこまで先送りしないことができるようにしていくのかっていう二つの考え方と、もう 1 点は貯金してきているので、頭金をどれくらい入れるかで回収できるレベルが決まってくるんですね。それらもすべて考えた上で、なるべく次世代に負担を先送りしないように、でも一気に綺麗にしてやはり 20 年 30 年は堅牢に持って欲しいというところと、まずは改修をして長持ちさせていく。この 2 つを組み合わせながら財政の負担を平準化していく。なんでも新築でどんどん綺麗にしてしまうと、またどこかでしわ寄せが来るのでそうならないように、考えていくっていうのがこの計画案になってます。</p>
----	---	---

先日、議会だよりを読むことがあり、その中で岸田敦子議員が、今の場所はやはり利便性がいいということで、建て替えを考えなかったのかという問いに対し、総務部長の答弁として、市を俯瞰的に見て、施設の減少、親和性のある施設の複合ということを答えられていたと思うが、その趣旨は理解できるのだが、なぜ、南中の跡地でないといけないのかなということがわからない。また西部地域の方にいる者にとって、車も乗らない、自転車も乗らなくなって、歩くしか移動手段がなかった場合に、とてもではないが南中まで行こうという気がしなくなる。その場合、例えば、15分に一本の間隔のようなシャトルバスの運行など、そういう移動手段のことは考えているのか。

お示しの通りでございまして、4万7000人が住み、かつJRが通っているこちらの西部地域を上から見たときに、やはり市民の方の意見で多いのは駅が2つありますので、駅周辺に公共施設を集めることができれば、一番利便性が高いでしょうと。それは私もそう思いますし、その意見が出るのも当然だと思うんですが、本市の駅の配置がこのようになっておりますので、ちょうど真ん中に国道163号線という幹線道路があるという観点から、一定この国道163号線を中心としたこの辺りが、いわゆる公共施設の集約性としては、田原からも北部の方も南部の方も来やすいんじゃないかという考えで、

まずこの中央地域というところを見据えています。本市としても、例えばたくさん市の土地を持っていれば、どこでも選択できる自由があると思うんですけども、現時点において、四條畷南中学校は、よく坂の上とか、非常に遠いというようなお声があるんですけども、実際は、地理的には中央部に位置しております。東小学校の廃校により、当該地域に避難施設が無くなることから、避難所機能を備えた体育館を中央地域に整備することが我々としての前提条件にあります。

いずれにせよ、最後におっしゃっていただいたバス、アクセス、これは公共施設の再編ということのみならず、これからこの日本全体が抱えていく課題ですので、平成29年度から着手をしております、この秋もう少し経ってから西側でも新しい取組みといたしますか。様々な取組みを始めようとさせていただきます。

公共交通自体はしっかり良くしていきたいと思っておりますし、例えば、集約地、駅ないしは市内の一定のエリアをして見ると、我々としてもやっていけないといけないというふうに思っています。ただ場所が決まらないうちからルートを決めていけませんので、一定、場所が決まっていけば、その周辺の道路の整備とそこに辿り着く公共交通とを合わせて整備をやっていきたいというふうに考えています。



<p>46</p>	<p>いま四條畷南中学校の跡地の話をされたが、南中は活断層が危ないというのが廃校になった一つの理由というふうに聞いているが、そこに複合施設を建てて、安全性は保てるのか。</p>	<p>13 ページになるんですけども、まず西部地域を見た場合に、いわゆる土砂災害、断層。西側に行けば浸水という災害の危険性がありまして、防災マップを見たことがある方はご理解いただけると思うんですけど、本当にどんな災害も来ない場所っていうのがまずどれだけあるのかと言えば、なかなか難しいと思います。そうした中で、やはり公共施設としては、安全性を高めていきたいという思いで、お示しいただいた南中学校につきましては、教育委員会として小規模校化している学校をどう対応していくのか。建物も老朽化をしてきていると。かつ、一つの小学校から複数の中学校にいかないといけない校区のねじれがある。この3つをどう解決していこうかというのを見たときに、西部地域で一体どういう学校の配置にしていくのが子ども達にとって一番いいのかというのが出発点です。結果的には、南中廃校という形になったその時にお示しの通り、敷地の東側に関しては土砂災害警戒区域になってまして、これが、断層があるであろうとされているエリアです。ただし、今我々が考えてるのは、このエリアに避難所が無くなってしまうということは行政としては考えられないことですので、一定この断層と言われるものから、距離を離れた上で、土砂災害警戒区域を除いた敷地を活用し設置をさせていくと。学校再編を考える際に、聞かせていただいた専門家の方としても、一定の距離を取って、しっかりとした構造のものを建てていくとすれば可能である。なので、市の判断のもと、この敷地も候補に入れさせていただいているというのがお答えです。</p>
<p>47</p>	<p>南中跡地に複合施設を整備と書いているが、市民総合センターや教文センター、福祉コミュニティーセンター、どれも利用しているが、それぞれ特色のある機能で様々な活動している。今後、箱は同じでそれぞれ階数によって、施設が分かれているというイメージでいいのか。例えば、窓口は一つで、事務所は一括になっているのか。というのは、市民、市民団体の活動の場所という意味では、目的が共通しているところもあると思う。そういう業務も統合されていくのか、それとも、今と同じようにそれぞれ別でやるのかというのが知りたい。</p>	<p>我々として施設全体の利用率を調べさせていただいた時に、やはり福祉コミュニティーセンターの中でも、教室の利用率が低く使われていないところがあるのが現実です。最近、他市では、3、40人使える部屋が2つあって、真ん中の壁を取り払えば、大きな部屋として使えます。この階は、この施設だけの独占物ですっていうふうにしていくと、利用率に差が出るので、柔軟に考えさせていただきたい。</p> <p>ただ、今でさえ施設利用の際に教育委員会の窓口に行ったらいいのか、市民総合センターの窓口に行ったらいいのか、サンアリーナの窓口に行ったらいいのかってことで、これは課題と思っまして、集約化ができたときに、窓口の一元化を進めていきたいと考えています。なので事務所等も含めて一元化をさせていただきたいというふうに考えているというのがお答えになります。</p>

南中の跡地や、市民総合センター利用のイラストをいただいている。今回いただいたのは、前回いただいた資料よりも枚数が少なく、私の手元には東小の跡地、市民活動センターの跡地利用のイラストが手元にあるがどうなったのか。

また、今の市庁舎の跡地にいろんなものが入っているが、そのイラストは私の手元になく、私の思い違いなのか。

資料の枚数、これは第1回第2回に限らず、どういう意見交換会をやらせていただいても、資料が多いっていうのと、少ないという意見。どちらも出るんです。我々も非常に毎回悩んでおりました、最適な量はないかなとは思ってるんですが、説明させていただける時間は大体30分ぐらいかなと思っております、その中で資料というのを、毎回どうすればよりお伝えしやすくなるのかなという思いで、今回はこの資料とさせていただきます。本来は、第1回の際にご説明させていただいた内容も全部つけるというのものもあるかもしれないですが、質疑応答の時間もたくさん取らせていただきたいという思いで、この資料のボリュームとさせていただきます。庁舎の跡地っていうお話をいただいたと思うんですけど、本館と東別館で分かれていて、東別館については、歴史が浅いんですね。そこに教育センターとかそういう機能を持っていった活用というふうには思ってるんですが、本館については、最後になりますけれども、もし完成した場合には、この土地については、何かに活用していくという計画はございません。なので、例えば、いま人口自体は、11年ずっと減り続けてきて、直近、ようやくちょっと回復しましたけど、我々としても別に決してその悲観論にあるわけじゃなくてやはり子育て世代の方とか、あらゆる世代の方に住みやすいと思ってもらえる町にして、人口が回復していく可能性だってあるわけです。日本全体は減ってきていても、四條畷の住みやすさとか居心地のよさを考えたら、そういう可能性もあると。なのでそのときには、そういう土地も使っていきたいという考えではあります。

49	<p>四条畷駅前と忍ヶ丘駅前に図書館や、カフェ、時間外保育の拠点という案が出ているが、私の記憶では、民間の方にこれは委託するというふうな記憶である。これは官民一緒にやるということでもいいのか。民間だけなら利益が出なければ、即撤収ということもあると思う。そののところ市としてどのように関わっていくのか。</p>	<p>駅前とかも含めた民間活力というお話ですが、この PPP というあまり聞き慣れない言葉なんですけれども、民間という言葉を使うと、例えば、全部民間にお願いしますっていうのと、全部市でやりますっていうのと、どちらかしかないかなっていう印象が強いですけど、そんなことなく、市と民間の関わり方ってたくさんあるんですね。例えば底地は市で持っておきながら、上物を建てていたりするところを民間さんにお願いするとか、箱も市で建てたときなら、中の運営については民間さんにお願いしていくとか、関わり方はたくさんあると思います。ただ、お示しいただいた通り、民間活力を活用していくっていう場合は、当然民間企業さんも一定の利益が出ないと事業継続をしていく必要がないので、本市の駅前周辺については、一定の人口の集約というのが見込まれるので、我々としては、全部税金でやるより、民間さんにもご負担いただいて、民間さんの利益も得てもらいながら、我々が建物を建てていくときや、運営していくときの一定の負担を担っていただくという考え方なので、完全に民間に委託してしまうってことはなくて、絶えず行政も、その間に入っていきながらやっていきます。行政としてルールは作らせていただいて、その中で民間さんにやっていただくと。そういう関わり方をしていくという考えをしております。</p>
50	<p>友人の意見だが、市民総合センターの跡地に市庁舎と公立子ども園ということが記載されているが、どちらも利用者の多い建物なので大きな駐車場が必要だと思うが、その土地の広さに見合った計画なのか。それら施設を本当に建てられるのだろうか。面積的にクリアできるのか教えていただきたい。</p>	<p>敷地については、どこの集約地にもかかわらず、今それぞれの施設ごと大体どれぐらいの平米かっているのは、当然市役所として把握しています。新しい案については、床面積っていうのはこれぐらいになりそうですっていう計算をさせていただいた上で、これだったら駐車場をこれぐらい、建物これぐらいになるかなというような積算の上で計画は作らせていただいている状況になります。</p>

南小学校は、将来小中一貫校にするというような計画があるが、人口増をどうするかというところあたりがはっきりわからないし、確かなものではない。現状でいくと四條畷小学校へ東小学校の人たちが行って、一杯になっているというところが、数年待てば減ってくると思う。そうすれば南小学校も、今よりさらに小さくなり、先々は小中一貫校をめざすなんていうのはなくなってしまうのでは無いかということで、少し不安がある。そんなことで、南小を小中一貫校でより確実にするために何がいかと。南中もなくなったので、何とかそういうシンボリックな施設を残してもらいたいという方からすると、道路関係は十分やってもらわないといけない。特に国道 163 号の南側。だんだん寂れていくというふうに思うので、ぜひ日常生活で使えるような道路関係の対策をし、防災にも活かしていただけたらなというふうに思う。

その辺のお金がどこから出てくるのかと大変心配している。先ほど投資的経費が 12 億から 7 億ということで、これは実績だけで 7 億を天井に、何とか運営したいという意向で 7 億が必要かどうかというのはわからない。私の危惧するところは、新しい建物を建てて、今の市役所とか、市民総合センターのような汚い状態で維持するのではなくて、もう少し綺麗なレベルでいくと、運営経費も増えるだろうし、投資的経費も増えるので、市役所を移転したり、市民総合センターができたところ辺りには、相当な投資的経費が出てきて、7 億では済まないのではないかと思ったりもする。そのあたりどのように考えているか。

市の一番上の総合計画という計画がございまして、その下にいろんな計画がいっぱいあります。市で示した人口というのはこの総合戦略にあります。多くの地域でやらしていただいている対話会は、この話をよくさせていただいてるんですけども、ここの中で、教育とか子育てとか、産業とかに力を入れていながら、何とか人口は減るよりも、転入者、在住者を多くしたいというお話をここに書かせていただいている。さらに行財政改革プランというものの中で、まだまだ行政として改革すべき点がたくさんあり、お金を億単位できっちり節減をして、こういうものに投資をしていくと。そんな構造になってます。どうしても今日は公共施設のお話なので、この話が手薄になってしまってるのはご理解いただきたい。

第 6 次総合計画は、4 年ぐらい前に作らせていただいた時に、市民の皆さんにアンケートを取らせていただきました。市民の方がこの政策には力を入れて欲しいと思いつながら、一番不満だというものに道路っていうのが挙げられたんです。なので我々としても、非常に実感をしてまして、やはり公共施設も大事ですが、併せて道路も今後大事になってくるので、何とか公共施設は年 7 億を維持していきながら、道路とかも併せて進めていきます。ただ闇雲に道路にお金使って全部広げていくのはできませんので、本市にとってどの道路が重要か。こういう分析していきながら、事後対応にならない計画を作っていくことで、防災とかにも繋がってきますので、今後、力を入れさせていただきたいと思っている分野の一つです。

投資的経費のお話をいただいておりましたが、本当にこれは、基礎自治体として、どういうふうに運営していくのかっていうのに関わってくると思うんです。冒頭の説明で申し上げました通り、年 12 億使おうと思えばですね、借金をすれば可能なので、別にできないわけではないんですが抑えていきたい。あとは今後、国からもらえる国庫補助金等もあります。例えば、市の借金というのは 2 つあってですね。単純に返還していかないといけないものと、何年かに渡って借金の一定割合を国からお金がもらえるっていう借金というのがあります。そういうのをどれだけうまく使っていけるかになります。なので、いま年 7 億って示してますけれども、今後しっかり国からお金をもらい、有利になる借金もしていくことで、市民の皆さんの負担を減らしていけるように鋭意努力していきたい。ただ公共施設も一定必要なもので、全部無くしていく考えではなくて、最低限のものはきっちり残していきたいという考え方です。

52	<p>今回、意見交換会の回数を重ねたのは、良い点だと思う。ただし問題の判断は、他市との比較である。こういう点を判断の基準の中入れると同時に、それを市当局も、具体的に調査しないといけない。</p> <p>例えば、ここの学研都市線は、便利はいいがホテルがない。大東市は四條畷警察の横に、民間委託して簡易ホテルとそれから貸し部屋。そういうモデルがあるわけである。だから民間にそういう協力を得て仕上げて、それからアクションもかける。具体例が全然ない。一番大事なのは、他市との比較。</p> <p>それから市役所の問題ね。これはもう大東でも5年前から駅前に云々という話があるが決まっていない。ということは、北河内では、守口除いて、市役所の建物は今のまま。そういうことがなぜかということで見ないといけない。それからホールの問題一つ。</p> <p>それから歴史資料館。私が思うのは、これからの世の中、他市と比較して、他市から来てもらおうと思ったらやはりアクセス、道が広くなければいけない。それを出来ないところは駅からそこへ行く道の舗装道路の色を変える。それをたどって行けば、勝手に辿り付く。四條畷は議論ばかり。やはり他市から来てもらうには、アクセスが大切である。</p> <p>まとめると、他市との比較をし、皆さんで1回資料を集めて、具体例を試行錯誤していくと。建物の話もいいけど。建物＝ノウハウ。そこをどうするかという問題。</p> <p>文化の問題。10月に大阪産大の市民講座で、そういう講座もある。そういうところでソフトの勉強もして行って、それからどうするか。これを検討し議会も経て、どういう答えが出るか、その答えが楽しみである。</p>	<p>先ほども同規模の自治体と比較すべきじゃないかということ、また今お示しいただいたような近隣市との関係性とかもあるかなというふうに思います。逆に言うと、例えばすでにごみ処理とか、消防とかは他市と連携してやってきておりますので、これからの日本全体見ていったら、そういう考え方は重要になってくると思います。</p> <p>おそらく大東市は、まちづくり会社っていう半民半官のような組織体がございます、そこが主体で動かれているのかなど。行政直接がそういうことをやっていくってなかなか難しく、そういうまちづくり会社がどうして行くのかということも含めてですね、四條畷は解決していく課題が多いのかな。ただ宿泊施設っていうところで、それが、やはり私も他の市長さんからたくさん聞くのが、いい面もあれば、逆の面も当然あります。ごみが増えるとか、いろんな問題も聞いてます。</p> <p>四條畷は住環境として非常に他市に比べて穏やかな町とされているので、まちづくり会社等で宿泊施設をどれだけ増やせるかってとこに議論がいます。今回は公共施設の話なので、一旦脇に置かせてもらいますが、それはそれでまた考えていくべきテーマかと思います。</p>
----	--	---

<p>53</p>	<p>最初の印象だが、意見に対しての返しが無い。田原含めて5回あるが、これだけのことができるのだったら、なぜ最初にこれをしなかったのか。重複されている方もいらっしゃると思うが、市民と語る会で出られた方の意見で今の資料を作られたと思う。</p> <p>先日も市長が言われたように、最終まで市民総合センターの案も残っていたと。庁内で最終的に持っている議案でしたと。それを最終誰が決めたのか。もちろん東市長だと思う。市民からこれだけのいろいろ反対意見が、ずっと4回とも聞いて、未だに出ているっていうことを今日聞いた。私も立場上黙ってられない。</p> <p>というのは文化芸術振興計画。この中で、文化施設の拡充、既存の整備っていうことも、市が挙げている。歴史的な遺産、これも施策重要というふうな形で掲げている。これ市で作られた。私ももう10年以上は、この会議で出させてもらっている。この中にそういうことを、市が決められている。その通りにやってくさるということで、前にも申しましたように、いろんなことで、文化に対して一所懸命私たちにやってきました。それがこの計画っていうのはもうない。これからあっても私出席しない。というのはこの通りにされている計画じゃないから。私たち、市を活性化するために、一緒になってここまで文化を盛り上げてきたのか、その意味が未だにわからない。</p> <p>5回の意見交換も、市議会の議員さんが要望書を提出されなかったら、市議会議員さんの声が無かったら、そのまま話が進んでいたのかと。私恐ろしさを感じている。民主主義があるのだろうか。</p>	<p>最後の点はむしろすごく民主主義が機能してる状態になっていると思います。何でも行政が決めていくっていうことではなくて、たくさんの方の意見を聞かせてもらいながらも、行政としてはいずれ1つの案にまとめないとはいけません。それを市会議員の皆さんにご判断いただく。そういうお互いのチェックの中でよりよいものが形づくられていくってことなので、議員の皆さんにご意見をいただいて、行政が軌道修正をしてまさに一番機能している状態なんじゃないかなと思います。</p> <p>意見交換会については繰り返しになりますが、最初からやっつけばいいんじゃないかかっていうご意見ですが、これ24回目になりますので、ずっと重ねさせていただいているというふうに思います。</p> <p>行政の案については誰が決めたというよりは本当にみんなで意見交換をしていながら、最終私になります。それはどの計画でどの条例等であっても、最終的には私の責任でもって出させていただくことになります。教育行政は教育長になりますけれども。</p> <p>文化の計画というお話をいただきました。お示しの通り、四條畷市としても、文化をより良くしていきたいというものもあれば、それ以外もあります。本当にたくさんございまして、全部拡充していきたいとは思ってます。</p> <p>ただ、全体の中で、全部同じだけ等しく拡充していけたらそれは理想なんですけども、なかなかできる状態にはないので、何とかそういうふうな未来をめざして、将来に借金を残さないような持続可能なまちづくりをしていこうという思いでこの全体案を作らせていただいています。やはり幾ら計画を立てても実行力が無かったらできませんので、未来にわたって今の私だけ達だけじゃなくて、10年後20年後の皆さんにとっても、なんでこんな状態だと思われたいような取組みをしていきたいと思っていますので、それぞれの計画を決してないがしろにしているということではございません。以上です。</p>
-----------	---	---

54	<p>財政の問題。昨年の劣化診断の中でわかったことは要するに 1970 年代の建物から長寿命化をすると、かえって二度手間になるし、費用がかかる。それを見直さずに進めようとしている。これは一体どういう意味なのか。長期的に見たらどうなんだということはあるが、少なくとも直近のところで非常に大きな負担をするということで平準化という思想に明らかに反する結果になる。そういう意味でやはり不合理だという具合に非常に感じている。この点の検討はどうか。</p>	<p>財政のお話をいただきました。財政のお話をさせていた く際には一番わかりやすいのが 18 ページになるのかなとい うふうに思っているんですけども、今の施設の老朽化、見 ていただいたらわかります通りこの 1970 年ごろに前後に、一 気に整備をしていると。それがちょうど 40 年 50 年前と思 います。一気に建てたのは、人口の増加に合わせ建てざるを得 なかった。その一気に整備したものが、一気に老朽化してい るという状況です。これをまた一気に改修するとまた何十年 後かに同じことが起きてしまうので、何とかこの負担を平準 化していきたいと。次世代に負担を先送りにしないという考 え方を我々としては取っています。</p> <p>長寿命化と改築とを全体に組み合わせて、なるべく年度年 度の負担を下げていくというのが今我々が考えてる方針なの で、平準化をきっちりしていくべきだという観点も踏まえて、 これからどういうふうにしていくのかも含めてこの計画に基 づいてやっていけたらというような考え方でございます。</p>
55	<p>1970 年代のものが非常に多いので、半分ぐらいをまず長寿 命化する。これは築 50 年近くになるものなので、それをや れば今度は 30 年後建て替えなあかんという形になる。この スケジュールでいくと、要するに初めの 10 年で、非常に多 くのお金を使って 20 年後はお金を使わずに、30 年から 40 年 後に、また大きくお金使う時期が来る。そういうようなスケ ジュールになっているので、それ以降と同じように、10 年は 中規模改修で、20 年後は少し下がるけれど、30 年目は中規 模改修に戻るとい、中規模改修で全部収まるというような 形にしようとするれば、市の劣化診断の資料に基づけば、今の 計画というのは違うのではないか。</p>	<p>いずれにせよ平準化を考えていかないと、次世代に対して 負担が生じてしまうことになるので、平準化をきっちりして いく。これは計画にもきっちり記載をしてあって、我々とし てもその方向性で取組みを進めていく。おっしゃってる意図 と同じだと思います。</p>

56

一番気になるのは、活断層があることがわかりながら、その跡地にコミュニティーセンターを移す。これに対しては地震対策とか土砂災害の対策ってというのは確実に解決できるのか。そこに、皆さんが集まり夜まで活動する市民総合センターを移すっていうことに疑問がある。

今ある公共施設全体を考えていた時に、それぞれいろいろな状況を抱えてると思います。災害時に田原中学校が避難所として挙げさせていただけないのも、土砂災害警戒区域内に立地しているからという状況にはなっています。

南中の跡地ですけれども、黄色いところが土砂災害警戒区域のエリア、黄色の帯が、我々が調査した断層というところなんです。これが昨年度末に廃校となって、東小学校が今年度末に廃校とさせていただくという状況になってきた場合国道163号より南で、JRから東のエリアに関して、全く避難所が無くなってしまふというのが大前提にあります。

その上で、この土砂災害警戒区域にかかっておらず、かつ、活断層から一定距離があるエリアに関しては、我々が聞かせていただいた有識者の方も、免震構造を持った建物であれば設置することは可能であるというようなご意見もいただきます。安全性というものを確保していきながら設置していくと。

ただ、どこも本当に災害の恐れがないところに整備していきけるのかって、これは無理です。比較的安全性が確保できるところ、かつ市が保有している土地の中で再配置を決めていくと。ご懸念はよくわかります。



57	<p>四條畷市は、生駒活断層と上町活断層が走っているので、どちらか動いたら震度6ぐらい来ると思う。</p> <p>その四條畷市で公共施設の統廃合というか、そういったものをされるにあたり、当然地質調査等すべてやっておられると思うが、そんなすぐ倒れる物を作らないと思う。</p> <p>市長いわく災害に強いまちづくり、ということを進めておられるが、2029年までに四條畷駅前に図書館という話があったと思うが、先ほどQ&amp;Aで旧外環状線の道狭いやないかというふうに書いてあったが、府と市が協議しているという答えが載っていた。</p> <p>そこだけでなく、四條畷高校或いは保健所の前の道も当然狭いということが言えるのではないかと。特に旧外環状線が今年の冬でしたか、大火が起り、通行止めになった記憶がある。府と市の協議をしておりますということだが、2029年までにあそこの道路が拡張されて、本当にできるかどうか、できなければ、図書館の移転という話が、何となく消えてしまうのではないかというふうに思うので、その辺の進捗状況について教えていただきたい。</p>	<p>施設周辺の道路整備に関するご意見とします。どちらも大阪府の道路として、当然道路を広げていく場合、一番大事なのはそこに住んでおられる方々がどのようなお考えを持っておられるのか。移動を丁寧にお話をさせていただくのがまず重要になってくると思います。</p> <p>そういうことも踏まえて平成20年後半あたりから府と市、また地域住民の方ともですね、いろいろ勉強を重ねてきた上で一定全体として方向性は住まれてる方も、理解いただいているという状況の中、昨年度、府としてはようやく予算をつけてくださった概略の設計というところまで進んできております。この1本目の予算というところが非常に大事でして、府としても踏み出す準備が整ったと思われたと思います。</p> <p>ただ、我々としてはいつまでに終わるところを明言することは難しいんですが、今年度地権者とお話をさせていただいて、もしそこが地権者の方も、前向きに話をしていこうとなれば、おそらくお示しいただいた年度までの間にも、その壁がクリアできればと思います。あとは拡張工事をしていくこととなりますので、一定進んでいくのかなというふうに思います。</p> <p>ただ道路を拡張したほうがいいっていっぱいいただくんですけど、大阪府としては二つ一気に言われてしまうと、どちらもやることはできないというふうなお話を毎回いただきます。ちょうど2週間前ぐらいもその話を大阪府の方とさせていただいたんですけど。まずは旧国道170号に全力投球をさせていただきたいというお話をいただいているので、すでに一步面踏み出して前に進ませてもらっている状況です。</p>
58	<p>例えば、旧170号の一方通行という考え方はないのか。旧外環状線を駅へ向けての一方通行それから四條畷高校前を国道163号に向けての一方通行そういった考え方というのは全くないのか。</p>	<p>本日施設の意見交換なので、また道路は道路でいろいろとお話させていただけたらと思うんですが、最後1点だけお答えさせていただくと、もともと雁屋畑線というのが都市計画道路がございまして、外環から旧国道170号に向けて東西延伸する線があります。実はこれ雁畑というぐらいなんで、畑中に行くことを意図してるんですね。</p> <p>市としては外環と旧外環を結ぶ道路があり、南北の道路が外環と旧外環があり、それによって移動の利便性を高めていこうと。ただ、今米崎辺りで止まっておりますが、旧国道170号が狭い状態で、ここにつなげるとですね、大渋滞起ります。なのでまず旧国道170号の拡張した上でつなげて迂回路を作っていきたいというのが市の都市計画になってます。</p>

59	<p>市民総合センターの施設の移転、今のホールの縮小とかにすごく反対意見があるっていうのを初めて知り、全体的には、費用を抑えたいっていうところにすごい賛成なので、今の席数を維持するとかっていうことは、僕は逆にそちらに反対です。市の予算を圧迫しないようにそのまま進めていくいただきたいっていう意見である。</p>	<p>ご意見というところで受けとめさせていただければと思います。</p>
60	<p>計画で移転のほうがいいというふうにした理由として、現状の施設のところから、移転、維持しながら、増築っていいですか、改修するっていう案もあるというふうになった時に、その場合は費用が非常に大きくなるっていうお話があったと思うんですが、それがどれぐらい違うのかっていうのを教えていただきたい。</p>	<p>今回個別計画を策定していくにあたって、なんでこれだけ、20年も30年先の計画を作っていくんだっていう話がちょっと絡んでくるんですけども、今これ我々が出させていただいている資産計算の手法というのは、基礎面積とその床面積に対して、これぐらいの施設の平均はどれぐらいの費用かかっていると。そういう計算のもと、これぐらいの床面積であれば、将来更新はこれぐらいになっていくというような積算方法をしています。</p> <p>今後この計画が定まった上で、設計に向かっていくんですが、その設計の際によく様々な手法の違いがよく明らかになるので、今この時点において明確に金額をお伝えすることは非常に難しいです。その設計する予算すらこの計画に基づいて国からお金をもらってきてやりますので。ただ増築ができないとか、同じ場所で建て替えができないということでは、決してなくてですねそれも当然選択肢の一つというふうには考えてます。必ずしも移転が前提となるわけじゃないと。</p> <p>ただし、現施設を維持改修しようすると、例えば1年使えませんかかってことは起きてしまうかもしれないです。</p>
61	<p>先ほど賛成ですっていう方がいましたけども、別にこの施設再編自体に反対してるわけではない。いらない施設を少なくすることには賛成ですけども。やはり南中が危険やっているので、そういうどんだけ安全ですよと言われても不安感が払拭できないから、そんだけ意見が出ると思うんですよ。</p> <p>だから僕からしたらそういうところ言われてますように、いろんな人が集まる場所じゃなくて、例えば備蓄倉庫とか避難箇所とかだけを作っというて、それを基準として有効できるような施設を作って、地震があった時に避難できるような施設を作っというて、今の市民総合センターと市役所は今の場所ですっていうふうに思います。</p> <p>他の施設を集約してコンパクトにしてっていう方がいいんじゃないかと思う。別に、全部残してくれとは言ってなくて、その辺はちょっと皆さんご理解いただきたいなっていうのはあります。</p>	<p>ご意見としては受けとめさせていただければと思います。</p>

62	<p>ちょっと観点が違うと思うんですけど、今回予算を申請するのに、国からいくらぐらい出てくるかっていうのと、それが試算に入っているかどうか。なぜそんなこと言うかというのと、近畿の話で森友学園など、学校法人の時にですね。</p> <p>こんなんでも補助金出るのがあってのがあったんで、利便性も大事やけど、四條畷の財政も軽くなるんじゃないかというので、試算がどうされてるかだけちょっと皮算用かわからんけど教えてほしい。</p>	<p>投資的経費というのはかかっていく額を示しておりますので、総額としてどれぐらいの費用がかかっていくかを示しています。当然、国のお財布も限られておるわけです。いま高度経済成長から建物をいっぱい建てて40年50年経ってっていう町は実は四條畷だけではなくて、日本全国ほとんど同じような状況が起きてるっていうことは、国としてはもっと配分できていく額っていうのは少額になるということになります。</p> <p>我々として計画を立てていく中でも政府の方針とかを見ながら、なるべく市民の皆さんの税金の負担額が減っていくような選択をしていくと。ただ今の時点で、5年後すらも全くどういうオプションになってるのかわからないので、それを積算していくのは非常に難しいです。</p>
63	<p>市長の方から南中が遠くないよっていう話があったが、私の私見ですが多分南中の位置っていうのが、北側の道路は比較的広いんですけども、東側は狭くてクランクしてて、西側も教育文化センターの前の通りもかなり狭いですし、南側の道も田中医院から御机神社に抜ける道もかなり狭く車の通りがなかなか困難であるんで。不便やから遠くのイメージがついてるのかなっていうのが考えられるんじゃないかなと思う。</p>	<p>おそらくそういうふうに思われてる方もいらっしゃると思います。今後、もしここに施設が集約されるとなった場合には、周辺道路をご意見たくさんいただいています。周辺道路の整備については考えていきたいなというふうに思います。</p>
64	<p>これは1回目の意見交換会時に、話が出てたんであえてご質問させていただいたんですが、最終3案残ってましたよという話をご説明いただいていますけども、最終3案、ないしは、今回の意見交換会で話が出た内容を踏まえて、住民投票という手法を取るつもりはないのか。</p>	<p>住民投票については、住民の皆さんが直接意思を示していただけて物事の賛否を問うという手法として非常に有効かつ重要なものになると思います。しかしながら住民投票にかけていく際に重要になってくるのは、1つの観点から物事を決める際には有効であるという事です。この施設の問題もそうなのですが、様々に論点が及ぶ場合っていうことに対して対応するために、市民の皆さんが選挙で議員の皆さんかつ市長を選んでいただけて、やはり議論していったってよりよいものにしていくという今の制度がございますので、住民投票という考えは現時点では持っておりません。</p>

質問してる観点は一つである。別に税金というのは、それをどう使うかという話ではないと。住民にとって何が必要かというのがまずある。必要性のために税金は使うし、必要であれば都市計画税という形でまた独自の目的税を取ることもある。問題はその使ったお金が本当に有効に使われてるのかと、最も行政目的を達成する方法として使われてるのか、そこが問題だという意味で今までの議論の中でいろいろ感じたことがある。普通ならそれぞれの問題、専門家も呼んで住民も読んで十分検討するはずなのになっという疑問を持っているので言った。

ちょっと抜けているところがあり、市民総合センターを長寿命化を図ることをなぜ考えないのか。市民総合センターは1980年代につくられてるので、長寿命化をするというのは、結局建築費が6割になる。長寿命化をすれば、次は建て替えるので、80年をとおすと、6割じゃなしに8割という形になります。それでもこの近年の中でわざわざ遠い先を見て、施設は減らしてしまうということはどうなものかと。長寿命化を図るということは要するに躯体だけを残して全部側を取り外して、もっぺん作り直す。リフォームするわけであるが、その時には、例えば今700ていっているが、ホワイエとかいうような場所を、ホールにまで拡張するなら、もう少し面積としては広く使えるだろうし、また図書館を移転するならば、もう一つ第2ホールをつくることも可能だろうと。そういう意味で使い方をいろいろ考えられるということと、費用は6割で済むと。だから移転して縮小するよりも、少なくとも40年間は安くつくという形になる。そういうことも踏まえて、今将来より人口が減らない魅力的な町にしていくためには、どうお金を使うのが一番効果的なのかという意味で、私は言っている。今小さくすればお金が安くつくということではない。少なくとも40年間は長寿命化をするならば6割で済むんだから、むしろそちらの方が安いでしょうということを言っている。

例えば今、市民総合センターの場所が今あるところに残っていくということ自体は、この案ではそうになっておりませんが、案として残っていなかったわけでもなくて、ただ、もし残していく場合、ホワイエまでホールを拡張するなどのお話をいただきましたが、その場合でも例えば減築をさせてもらわないといけない、あの位置と面積が一緒になるっていうことではないので、立地は立地で考えさせていただきつつ、規模は規模で。やはり負担は、なるべく平準化して予算を押さえていき、目的を達成するというのが地方自治体の役割です。それはお示しの通りの方向性だと思います。ご意見いただきましたので最終的な案に向けてご意見の一つとして受けとめさせてもらえればと思います。

66	<p>聞いてまして、何かすごくなんか納得がいかなくようになってきたんですけども、もともとこの計画っていうのはこの四條畷の南中学校跡地ができたために、そこを使わないといけないので、市役所とか市民総合センターの機能をそちらへ移してっていうふうを感じる。順番が南中学校の跡地を利用しないといけないというのが一番にあるような気がして参りましたが、そういうことはないのか。</p>	<p>そもそも公共施設の個別施設計画を作っていないといけないという背景は、施設が一定年数を経てきていると。何がどういう状況にあったとしても、もうこの時点で、市として公共施設の全体のあり方を考えていけないといけないというのがあります。その上で我々大事にしていきたいなと思っているのが、市民活動センターや福祉コミュニティセンターとかシルバー人材センターとか、旧耐震基準で運営させていただいてる施設があると。そういうものに対してどう対処していくのか。まずやはり公共施設というぐらいなので、安全性の確保をしていけないといけない。ただ土地はどこにでも余っているというわけではなくて、市が保有して、かつ、それなりの面積があるのが、南中跡地ということです。</p>
67	<p>いま市役所がある場所、市民総合センターがある場所に、市役所は市役所の場所。市民センターは市民総合センターの場所で建て替えるっていうことを考えたら、一番いいんじゃないかなと思う。その南中学校の跡地っていうのはあくまでも危ないですね。</p>	<p>私の説明が悪かったかもしれないんですけど、市全体においてですね、何も南中学校跡地だけがそういう状況なのではなくてですね、いろいろなところにある災害の一定危険性があるエリアは存在しています。</p>
68	<p>もともとあった場所に新しく作って、南中学校の跡地は、ゆっくりと何か考えていくっていう案も何かあるんじゃないかなって、話し合い聞いてて、だんだん感じた。ですから、私の意見ですけども、南中学校の跡地は一番後でもいいんじゃないかなって感じがしてきた。</p>	<p>ご意見としては受けとめさせていただきます。ただ繰り返しになりますが、候補地から基準で決めているのではなくて、まずは安全性の問題とか耐震性の問題とか、課題がある施設をどのようにして改修していったり、安全性を確保していったりするのかが。それをまずどうしていくというのが根源にあります。</p>
69	<p>市長さんが今おっしゃったみたいな話がどこにも記載が無いので、中学校の跡地にこれを持ってくるっていうのがありきに聞こえる。もともとこのところに建て替えるっていうのが市民の皆さんの一番良い要望だと思うので、そのあたりちょっと何か違和感がだんだん生じてきた。</p>	<p>ご意見としては受けとめさせていただければと思います。</p>
70	<p>廃案になった案をぜひ資料の中に入れていただきたいと思う。市役所の方はすごくわかっておられると思うが、その場で建替えすれば、施設の使えない期間、皆さん活動はどうされるんですかって逆に質問したじゃないですか。その時に答えてる人誰もいなかったんですよ。建替え期間は使えませんが宣言してたらなんかわかりやすくなるんじゃないかなと思う。だから、ぜひ資料の中にその廃案も入れていただきたい。</p>	<p>意見交換会に臨むにあたり資料の量をどうするかということ、行政としても非常に考えておられて、やはり少ないというご意見もあるんですが多すぎるという意見もあり、非常にバランスとして難しいのかなというふうに思っております。なるべく今考えていることであつたりとか、主要な観点というのを盛り込みつつ、なるべく分量は抑えめについていけるので、確かにお示しすることができた方が今回よかったかなのかなと思います。</p>

71	<p>新しい施設を見ると、比較的低層階の施設が多いんですけど、市民総合センターと市役所とか併せて高層階のものが建てられないのか。</p>	<p>まちづくりを行っていく上で、市のそれぞれのエリアにおいて都市計画というもので分けていって、それでまちづくりを行っていくんですが、市民総合センターにおいては当然、住環境というのもあるので、これは部長確認しますが、計画案としていた中でおそらく限界はあと1階ぐらいは重ねることはできてですね、制限なく上に伸ばせていけるという性質のものではないです。いろいろな制限等ありますので、全部1ヶ所できればいいですが、用途地域の制限というのもあるという状況です。</p>
72	<p>既存の場所で1年2年と待てるかどうかということなんですが、希望に満ちてる夢のある市民ホールでしたら、何年でも待つ。その待ってる分だけいいのができるという思いで待てると思う。</p> <p>総合受付について、現状として公民館、それから指定管理会社。これが入ってるだけでも、ややこしい。今、それがこっぴどく集約をするということによってどんだけややこしくなるかっていうことも、扱ってる者の身になって考えていただきたいなと思う。</p>	<p>総合受付に関しては他にも少しご意見出たんですけど、それぞれの運営主体が運営するんですが、複合的なものになってきた場合は一括的な窓口を設けさせていただきたいというふうに考えてます。</p>
73	<p>これからこの5回の意見を踏まえながら、もう1回再考されると思いますけども、市長の中で、いつごろ、どういう形で決定して発表されるおつもりなのかっていうのをお聞かせ願いたい。</p>	<p>本市にとって最も大きな取組みの一つです。意見交換が最後でというようなお声もありましたけれども、いや、まだまだ議論が必要だという結論になれば、当然必要だと思います。それはすべての可能性を除外しているわけではないです。いつの時点まで議論をしていくのか。大事な計画ですので、今の時点で、いつごろに決めますというのも無責任と思います。やはり5回の意見交換会でいただいた貴重なご意見。これを全部受けとめた上で、いつごろに決めていくのかと。この場でこの時期ですっていうのは、まさに決まってるやないかという話になるので、もう少し時間をかけていきますが、結論を出さないといけないのがあります。それらを総合的に踏まえて、結論を出したいと思いますが、いずれにせよ、施設の老朽化等が進んでいることは事実です。小学校施設等々の老朽化が進んでいることも事実です。なので、ずっと何年も先送りにしていくということではなくて、どこかしら区切って結論出させていただきたい。ただそれが何月かというところに関しては、少し考えさせて欲しいなと思います。年度内であるということはお伝えしておきます。内容の周知に関しては、やはり、広報なりいろんな手法を使って、1人でも多くの市民が目につくような方法、媒体使って、発信していきたいなと思います。</p>

## 2 市民文化系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>四條畷市民が贅沢を言っているのかと思い四條畷市と同規模の市町村でホールを持つ市町村を調べてみました。</p> <p>しかし、どこの市町村も同規模またはそれ以上のホールを確保しており、文化の発信拠点を構えています。この町から文化を発信するという基盤があることが最も大切なことです。</p> <p>他市の利用状況も見たが、どこの市も平日は利用率が少ないです。四條畷市の利用率は高いと思ってください。</p>	<p>文化の拠点としての市民ホールの役割と、それが整備されている現状が市民の方にとって大きいことは、認識しております。その重要な点を踏まえた上で、一方で見直しをしていかなければならないこともあります。</p> <p>資料にもありますが、ホールの利用率について全国平均と比べると低いという事実があります。市としては、このホールの維持コスト等も考えていかなければならないということがあります。四條畷市がしたいことは、将来に負担を先送りしない為の規模の見直しです。子育て支援等の施策を後回しにしない為にも、胸を張れる規模ではありませんが、市民ホールを整備していく必要があると思います。</p> <p>また補足ではありますが、障がい者や子連れの方でも、気兼ねなく利用できるような座席を設けるには、今のホールのような傾斜があり、座席間の幅の狭いホールでは厳しいと思います。それを踏まえて大ホールをめざすか、小ホールをめざすかは、今後皆さんと意見交換をしたいと思います。</p>
2	<p>活断層で廃校になった南中学校跡地へ市民ホールも一緒になった複合施設を移転させるというのは、どこから出た意見なのか。</p> <p>平成 28 年に令和 2 年までの第二次四條畷市文化芸術振興計画がある。ようやく前向きに文化の振興が計画されると喜んでいたところである。この計画の中で、既存の文化施設の充実に努めると謳われているにも関わらず、市民ホールの規模を縮小する。この計画に謳われている内容が反映されないのであれば、この計画会議は中止してください。文化の振興に努めてきた私達が全然評価されない答えが出されていることに非常に憤りを感じる。</p>	<p>四條畷の文化の発展に貢献していただいたことは、市職員一同含め理解しております。</p> <p>文化芸術振興計画以外にも計画がございます。どの計画も前向きな目的を前提に策定しております。この施設の計画も同様で、市全体にとってよりよい物を選択していく必要があります。この意見交換会を経て柔軟に対応していきたいという思いがありますので、お答えはこの 5 回の意見交換会を終えてからとさせていただきます。</p> <p>立地に関しましては、JR の駅が四條畷のまちの北と南にあり、公共施設は駅に近い方が利便性が高くなることは理解しています。なら、大きな複合施設を市内に 2 か所もしくは 3 か所持つかと云えば、それは非常に厳しい所です。現市民総合センター周辺の地域からすれば、遠くなるかもしれませんが、西側地域の真ん中に構えるのが妥当だと判断しました。ただ、現行の場所に建てて欲しいという意見も多いですので、意見交換会を踏まえ考えさせていただければと思います。</p>

3	<p>市民ホールについての意見がなぜこれだけ多くの意見が出ているかと言うと、人々を魅了する文化の拠点として市民の活動を助けるものだからである。市民が求めている市民ホールは、単なるコミュニティ施設ではなく、文化を発表・発信できる場所なのである。市民が活動しやすい場所という観点を持てば、南中跡地へ整備するのはどうかと思う。</p>	<p>ご意見として頂戴いたします。</p>
4	<p>市民ホールについて、300人へ規模を縮小すれば利用者が増える根拠は何か。</p>	<p>市民ホールの利用率について、縮小化すれば利用率が上がるという根拠はありません。ただ、現状を維持していくの がいいのか、それとも、多くの方に利用してもらうのかを考えれば、多くの方に利用してもらえる環境にしてい くことが望ましいと思います。</p>
5	<p>市民ホールを移転することも大賛成です。ただし、ホールの規模を縮小することは疑問があります。どこの市も大きなホールをお持ちなんですよ。私も詩吟をやっていますからいろんなホールに行くのですが、市長は、四條畷市文化協会が進めている夏祭りに行かれたことはありますか。700人のホールが満員になりました。そこに行く と元気になる。やはり多くの人に自分たちの発表を聞いてほしい。これが一番の希望である。</p>	<p>ご意見として聞かせて頂きます。</p>
6	<p>南中の跡地は、土砂災害警戒区域に指定されていて、活断層も通っている。そのような危険な場所に、なぜ市民が集う市民総合センターを造るのかという声をたくさん聞くのですが、いかがか。</p>	<p>旧南中が無くなれば、南中の周辺の人 が災害発生時に国道163号を越えなければなりません。それは非常に厳しい ですので、専門家に意見をいただき、活断層と土砂災害警戒区域以外の外側 であれば、建築しても問題はないとのことですので整備をさせていただき、 災害時の対応を考えていきたいを思います。</p>
7	<p>市長の質問への答えは私達を説得するために話しているように聞こえます。実際に、私が今日聞いた中では、市民総合センターを南中跡地へ移転したら危険なのではという意見や、市民ホールが300人では少ないのではという意見が多数を占めている。今日の流れが残り4回続くのであれば、本当に市民の声を聞くべきだ と思う。現状がいいとは思わない。改修も必要であれば、稼働率を上げることも必要である。今日のような意見が大勢を占めているのに南中へ移転するとなれば、皆さんひっくり返ると思う。</p>	<p>おっしゃるとおりかなと思います。早口ですし、説明口調でしゃべっている ので、私の不徳の致すところ です。もう少し丁寧に説明できればと思います。 その上で、この計画案は私1人で考えたわけではなく、施設再編室を含め各部局の職員が考えた内容を、私がいまお伝えしています。私が独断で決めたわけではないので、それぞれの職員の考えや思いを聞いた上で判断しています。 今までの経過で頂いた意見や、この意見交換会で頂いた意見を踏まえ、議会の皆さんからもご意見をいただいた上で柔軟にやらせていただければと思います。この意見交換会の間は、計画を変えずに最後は柔軟にやらせていただきたいを思います。</p>
8	<p>南中の件ですが、私は耐震性さえ確保できれば、南中跡地に市民総合センターを移転するのは賛成である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>



<p>9</p>	<p>この案を見たときに、果たして四條畷市の文化に対する考え方、これがどうなのかなど。市民総合センターなり市民ホールを持っていく。しかも、その市民ホールを縮小するという形で。旧南中については、活断層問題、土砂災害警戒区域という問題。そういう問題があったので、南中を廃止することになったんだという具合に、一般の方はほとんど理解をしている。文化施設と違って防災拠点とかいう場合には、何とかこれを避けて残していく。避難できる場所を造っていくと、この考え方はわかる。</p> <p>四條畷市の文化施設その拠点というものはどうあるべきなのかという観点を中心にした検討というのがまず必要ではないかという具合に思う。</p> <p>四條畷市としては文化を大切に作る町にしていくという基本に立って、そこからの視点というものを大切にしてもらいたいという具合に思う。</p>	<p>Q&amp;A5 ページに記載をしております。四條畷の小中学校の再編というものに関しましては、これは三つの緊急課題というものを教育委員会の中で設定されていて、どのような形にしていけば一番子ども達の教育環境がより良くなっていくのかという総合的なもののなかで、最終的に土砂災害警戒区域、活断層というところですが、例えば土砂災害警戒区域がかかっていないところであれば、建物については専門家の方も、建てることは構わないということなので、教育委員会が持っていた案としても、ここに例えば小学校を建てるのかそういうことは検討したんですが、なるべく市域全体の通学距離も考えながら、かつ小規模校も解消していきつつという判断の中で教育委員会として、廃校を決定されました。</p> <p>我々としても廃校を決めていく際に、南野を中心とする方々が避難する場所がなくなってしまうという観点のもと、この土砂災害警戒区域以外を活用して、防災拠点整備させていただきたい。その上で、防災拠点だけではなくて、普段から地域の方が集うような施設というものも併せて検討させていただきたいという思いのなかで、取組みを進めさせていただきます。</p> <p>文化のお話をいただきました。ほんとに文化も大切ですし、他のあらゆる分野も本市としてどれが大切じゃなくて、どれが大切だというのはないと思うんですね。すべて行政が取組む以上、それはすべて大切な分野だというふうに思ってます。</p> <p>ただ、いずれにしましても、今おっしゃっていただいたご意見というのは、非常に重要な考え方だと思っております。またこの5回意見交換会をある中でどのように反映させていけるのか、はたまたこのままでいくのかも踏まえて検討させてもらえたらなと思っております。</p>
<p>10</p>	<p>意見としては、南中の跡地に市民総合センター建てるっておっしゃってますが、南中を廃校するっていう意見交換会のときに市長が、校舎を断層から離れたところに建てたらどうですかっていう意見に対して、断層が見つかったところに、あなたは新築の家を建てようと思いませんかというふうにおっしゃったと思うんですね。それと私も同じ感覚で断層が見つかったところに、みんなが通うと建物を建てるっていうのは反対です。</p>	<p>断層の上に建てていくという考えはありません。なるべく一定距離を離れた場所にというふう考えてます。</p>

<p>11</p>	<p>文化芸術振興計画の件ですが、既存の施設の充実、拡充に努めるってということで、平成 28 年度から第二次計画ということで計画されており、四條畷の文化を盛り上げるためにやってきた。先にお聞きしますが、この 5 回の意見交換会で検討して、また市民に対してこういうふうに決めましたって報告があるのか。</p> <p>文化を盛り上げる芸術振興計画ができて、市が決めることに対してやってることが違う。既存の充実、拡充とまで言って、うたい文句になってるのが全然違う方向。38 年前に市民総合センターができた時に皆さんものすごい喜びはったの私は感じた。今 300 人になりましたら、他の市に借りに行くわけですか。</p> <p>夏祭の時の 220 人からの意見提出用紙とパブリックコメント 33 人の意見提出。それも 16 日に間に合わないかんってことで、7 月 15 日に夏祭がありましたので、それを持って行った。お決まりの文句は返ってきた。パブリックコメントの方は受けるけども、その意見提出の方は云々と言われたんですが、私としては、皆さんが、市民総合センター利用されてる皆さんが大切に意見を書いてくださった用紙、それをうやむやにしないでくださいね。ものすごい私今不信感でいっぱいです。</p>	<p>文化についても拡充できるもの、充実させていけるものは充実もさせていただきたいです。ただ市の分野というのは文化だけではなく、もっと拡充させていただきたいものはたくさんあります。ただ、限られたお財布の中で一定どのように拡充という方向性を考えていくのかというのも一緒になって考えていきたいとそういうふうに思ってます。</p> <p>ホールの拡充の考え方は、車椅子の方の場所というものがこのホールにはございません。最近できてるホールですと、後ろの方にガラス張りの場所があって、赤ちゃんが泣き叫んでも音楽を楽しめるとか、合唱も聞けるとかそういうスペースが最近できています。またこの横幅についても、体が不自由な方にとってすべて一律この幅で用意してるとどうしても狭いな感じてしまわれる方もいる。</p> <p>なので、確かに座席数だけをとらまえると非常にちっちゃくなったなという印象があるかもしれないんですが、車椅子の方が利用できる、親子連れで赤ちゃんがいても気軽に使ってもらえるところ。利用率を上げていくために舞台を広げていく、或いは反響板を設置するということをやれば、おのずと同じ面積であってもこれは座席数は少なくなっていくざるを得ないのかなと思います。行政としては拡充というのは確かに座席数を増やすというのも、僕も拡充っていうとらえ方もあると思いますが、これは今の状態でもより多くの方に、いろんな方々に使ってもらえる、聞いてもらえるというような施設と一緒に考えていけたらいいなというふうに思います。</p> <p>今ある限られた面積の中でどうすれば、利用率が上がっていくのかと。本当に多くの団体の皆さんのおかげでこのホールというのは 27%の利用率たくさん使っていただいています。ただ、全国の 500 から 1000 席の利用率を見てみると、やはり 50%ぐらい年間使われてるとというのが実態で、四條畷は 27%と、たくさん使っていただいているんですけど、やっぱ半分ぐらいの利用率になってる。それは先ほどの方がおっしゃっていただいた理由もあるかもしれませんが、利用率を上げていけるような取組みというのを一緒になって意見交換させていただきながら、細かい設計というところを考えていけたらいいなというふうに思っています。</p>
-----------	---	--

<p>12</p>	<p>私は舞台、ホール関係で約 40 年ほど仕事をしておりまして、基本的に舞台っていうものの稼働率をどういうふうにしてあげていくかというのがやはり一番の問題だと思うんです。箱の大小は関係なく、やはり舞台っていうものが充実していないと稼働率は上がらない。まずこの舞台には反響板がない。反響板っていうのは、クラシックとか、そういう音を反射させる板があるんですけども、そういうものがないがためにここは使わないと。四條畷市民の方でもそういう方はいる。ですから、新しく作る時はそういうことをやはりよく考えて。</p> <p>あとは舞台。キャパシティを減らしたから、舞台も縮小していいんだという考えは持たない方がいいと思う。舞台というのは、そこで演じる方々のスペースなので、広ければ広いほど、これはすばらしい。いろんなものがこの舞台でできるので、おのずと稼働率っていうのは上がっていくと思う。限定された広さのところでは、やはりできるものは限られるので、稼働率っていうのはそんなに伸びることはないと思う。</p> <p>あとは料金設定のことで、やはり四條畷市民の方に広く使っていただくためには、もう少し優遇措置を取れば、利用率っていうのが上がるのではではないかと。</p>	<p>文化についても拡充できるもの、充実させていけるものは充実もさせていただきたいです。ただ市の分野というのは文化だけではなく、もっと拡充させていただきたいものはたくさんあります。ただ、限られたお財布の中で一定どのように拡充という方向性を考えていくのかというのも一緒になって考えていきたいとそういうふうに思っています。</p> <p>ホールの拡充の考え方は、車椅子の方の場所というものがこのホールにはございません。最近できてるホールですと、後ろの方にガラス張りの場所があって、赤ちゃんが泣き叫んでも音楽を楽しめるとか、合唱も聞けるとかそういうスペースが最近できています。またこの横幅についても、体が不自由な方にとってすべて一律この幅で用意してるとどうしても狭いな感じてしまわれる方もいる。</p> <p>なので、確かに座席数だけをとらまえると非常にちっかくなつたなという印象があるかもしれないんですが、車椅子の方が利用できる、親子連れで赤ちゃんがいても気軽に使ってもらえるところ。利用率を上げていくために舞台を広げていく、或いは反響板を設置するというをやっつけていけば、おのずと同じ面積であってもこれは座席数は少なくなっていくざるを得ないのかなと思います。行政としては拡充というのは確かに座席数を増やすというのも、僕も拡充っていうとらえ方もあると思いますが、これは今の状態でもより多くの方に、いろんな方々に使ってもらえる、聞いてもらえるというような施設を一緒になって考えていけたらいいなというふうに思います。</p> <p>今ある限られた面積の中でどうすれば、利用率が上がっていくのかと。本当に多くの団体の皆さんのおかげでこのホールというのは 27%の利用率たくさん使っていただいています。ただ、全国の 500 から 1000 席の利用率を見てみると、やはり 50%ぐらい年間使われてるとというのが実態で、四條畷は 27%と、たくさん使っていただいているんですけど、やっぱり半分ぐらいの利用率になってる。それは先ほどの方がおっしゃっていただいた理由もあるかもしれませんが、利用率を上げていけるような取組みというのを一緒になって意見交換させていただきながら、細かい設計というところを考えていけたらいいなというふうに思っています。</p>
-----------	---	---

<p>13</p>	<p>複合施設で300席ってということになりますと、今、吹奏楽の方、お茶の方は道具を置いたり、いろんな形で置いてらっしゃる方がいる。もちろん、伝統文化の子ども達の太鼓も置かしていただいている。そういうのも全部含めて複合施設には入るのでしょうか。そういう置いとけるようなキャパももちろん考えてらっしゃるのでしょうか。ここをやはり活動の拠点にしてるわけです。いろんな方がいろんな形で置いてる方いらっしゃるんです。そういうことも皆さん、利用者がものすごい心配してるっていう声も聞いている。</p>	<p>例えば楠風荘さんであったり、福祉コミュニティーセンターさんであったりで頂いた意見ですと、一定集約させていただく際には、やはり窯の話とかもございまして、楠風荘さんだったらやはりカラオケすごいたくさんの方使っている中でそういうものは確保されていくんだろうかといういろんなご意見があると思います。</p> <p>立地と面積は、先ほどお示した白い部分の面積になってきます。その中で一定我々としては、それぞれがどれぐらい利用されるかなど。やはり各施設の利用率がもう10%とか20%というところもあります。</p> <p>その時に、例えば福祉コミュニティーセンターだと、駐車場がないから使いにくいとかってということもあつたりします。とって駐車場とか道路とかバスとか整備させていただいて、集約の際には、今ある全部の面積分を足したものが必要になるっていうふうには考えていません。10%とか20%が30%としか利用をいただけてないところは集約することによって、一定少し面積は最適化されるのかなというふうに見込んでいます。</p> <p>ただ、場所と面積は決まった後は、利用団体の方々、それぞれ文化をされている皆さんとか、様々な団体の皆さんとこういう間取りがいいんじゃないとか、先ほどのホールの席に関しても、車椅子の席があるって行政としては思ってますけど、そんなものよりやはり座席数が多いほうがいいんだというご意見も、もしかしたらあるかもしれないので、お話させていただく際には、やはり座席数を優先させようという話になったら、私はそれでも構わない。絶対に300っていうふうにこだわってるわけではなくて、それぐらいのいろんなゆとりを持ったら、それぐらいになるかなと今は思ってるので、面積的にどうしていくかというのは、今後いろいろ話をさせていただいて、そこは話し合いの中で、中身を具体的に詰めていけばいいのかなというふうには思っています。</p>
-----------	---	---

14	他市のホールを借りに行く話ですが、文化祭にしろ、成人式にしろ、どうなるのか。	<p>私も毎年、成人式に出席させていただいて、本当にここが成人を迎える方々でいっぱいになってるなというふうには思います。</p> <p>僕はものすごくこの四條畷の成人式はすばらしいイベントだなあと思うと同時に、成人式とかという複数回の中で全部が埋まるからという理由で、面積を取れば取るほど維持コストも当然かかりますし、補修費もかかってくると。なんでも最大限を見越してすべて造ることができたなら、一番いいと思います。</p> <p>でもやはり利用率が 27%というのも考えさせていただいて、どの大きさが一番いいのか。南中跡地に造らせていただく体育館。一定面積を考えてますので、そこで例えば椅子を置かせてもらえば 700 人ぐらい入るんじゃないかとか、</p> <p>現体育館のアリーナを使わせていただくという考えがあるのかどうかとか、やはりキャパだけというものを考えた場合は、いろんな機能を持ったというものを考えさせていただきたいなというふうに思っています。ただ、そういう文化活動とかされる際に、どうしても 1000 とか 1500 がいると。すでに 1000 人が必要だという方が他市で利用されている状況があると思いますので、その状況と同じになってしまうというのは起こり得るかなとは思っています。</p>
----	--	--

15	<p>図書館サービスを身近にということが方針になっている。そして四條畷の西部地域に3ヶ所設けるという計画になっている。ところが、34ページ以下を見ると、北出小学校の跡地、現在の市民活動センター或いは地域包括支援センターとか社協とか、そうしたものが入ってる建物の一部に図書館フロアを作るといようなことが書かれているだけであって、忍ヶ丘駅の近く、あるいは四條畷駅の近くに関して、図書館に近いものが、この辺に出来ますよということは、それ以下は、もう計画に全く示されていない。他の計画に関しては、詳細にどうしていくということが示されているにもかかわらず、基本計画である図書館に関しては示されていない。これはどういうことですか。先ほどから、文化を軽視しているのではないかというような、そういう趣旨のことを言われていることがたくさんありました。図書館も、これは子ども達に文化を継承していく、子ども達だけじゃなくて、我々も使えますけれども、そうした文化を継承蓄積していく大きな施設である。それに関しては、三つのうちの二つに関してなんの記述でもない。これは文化を軽視してるとしか言いようがないと思うんです。このこと、どうお考えか。</p>	<p>ちょっと我々の説明がまずかったと思います。38ページの方になります。お示しいただいた地図というのは、今ある建物が移転をするとか、改修をするとかっていう記載になっているんですが、いま現在我々想定している、例えば、忍ヶ丘駅前については、いま建物が建っていない土地になりますので、この建築物を有さない施設というページにまとめさせていただいて、図書館というふうに記載をさせていただいておりますので、決してないがしろにしているとかっていうことではないというふうにお示しをさせていただければと思います。</p>
16	<p>南野の方から来ている。土石流災害地域に私の家はある。今現在、東小学校のグラウンドを36年間使わせていただいている。それで来年、閉校になった状態で何も聞いていない。どういう使い方ができるか、それとも完全使えないのかも聞いていない。もう半年である。それなのに意見も市役所からも、学校からも聞いていない。</p> <p>2点目は、この市民総合センターの300人っていう話が出ているが、四條畷では308人は入れるホールがあり、椅子を出して使えるところがある。別に南中に300人ホールを造る必要はない。</p>	<p>ホールに関しては、先ほど別の方もおっしゃってましたが反響板がどうかとか舞台の広さがどうかとか、おそらくそういう文化として使われるのか、ホールとして使うその差はあります。</p>
17	<p>ホールについて、300人規模にするということであるが、その規模にすると利用が増えるであろうということであるが、根拠はないということであったのでなかなか納得しづらい。私は500人ぐらい入るぐらいの方がいいのかなと思っている。700の人のままで行くということについても根拠があるのかって言う話であり、漠然としているとかホール規模自体市民がどれぐらいの規模を望んでいるのかアンケートを取るなどしたら前に進むのかなと思う。</p>	<p>座席数については、何席かもわからなければイメージもできないので、まずは今300という風にお示しさせていただいているが、例えば車椅子の方が座れるようなスペースがあったり、親子連れの方が座れるような場所があったりとか、実際に面積が決まった場合は、座席を小さくして500もいけるんじゃないかとか全然可能かなと思っています。ただ、今の施設には反響板がないとか色々課題もあります。中身については具体の設計の中でどんどん決めていっていったらと思います。ただ、大体の面積については、ここで一旦決めないと次に進めないというのがあるので、理念としてはこのような考えです。</p>

18	市民ホールであるが、資料で 300 っていう数が明記されてると思うが、これの一つ前、1000 っていう数字が上がってたと思うが、いつの時点で無くなったのかを知りたい。	<p>市民の皆さんと第 1 回の際は財政の状況を注視して、施設の再編の全体像を考えてますという形で意見交換をさせていただきました。第 2 回の際は、もう少し踏み込んだ形で、この第 3 回はより詳細となってきた中で、計画案として 1000 っていうのはなく、ワークショップ等での市民の方のご意見の中で、1000 っていうのはどうかってご意見なので、ワークショップの検討結果等の公表資料の中に、こういうサイズはどうだろうというような意見はあったと思います。</p> <p>なぜ、こういうことを申し上げるかと言いますと、19 ページになるんですが、我々行政全体として施設を全部維持していくと 12 億円かかっていくのを、今後 7 億円ぐらいに抑えていかないと次世代に借金をどんどん残していくっていう観点からすると、もし 1000 っていうホールを行政でお示しする場合は、その分どこかを削った形の計画案を作らないと行政としてお示しできてないと思います。行政として、いま出させていただいている再編案以上に、どこかを削減して提案を作ったことがないので、1000 っていう形で行政案として出したというよりは、過去ワークショップでの住民の方の案としてこんなのもどうかっていうのを公表資料として、ホームページに載せさせていただいたことはあると思います。</p>
----	---	---

<p>19</p>	<p>市民ホール。これを今 700 人規模から 300 人規模に落とすということなのですが、例えば、成人式とかやるにはやはり 500、600 人という方が成人になるのに、場所的にそのぐらいの広さで、果たしてそういう催し物とかができるか。</p>	<p>成人式等について、成人式のみならず規模の大きいイベントの話ですが、そのお話をさせていただき上で、当然我々は成人式その他たくさんのイベントについては、特に私も成人式は毎年出させていただいて、こんなすばらしい成人式はないと思っていながらも、まず本市として考えないといけないのは、いろんな今後の状況を見ていった場合に、他市とかですと、車椅子の方がそのまま観覧いただける席であったりとか、最近あるのは、親子席と言いまして、赤ちゃんが泣いても観賞ができるようなスペースがあったりとか、なるべくスロープっていうのも緩くしていこうとか、こういうのを考えていった場合に、やはり多くの方に利用いただける施設にしていこうという考えの中では、座席数は、同じ面積であっても減ってってしまうのかなという考え方です。実際、今たくさんの方に使ってもらっていますが、27%ぐらいが利用されている状況でして、全国と同規模の利用率と比べると半分強ぐらいになっているという状況です。やはりもう少し使ってもらえるように我々も工夫をしていきたいというのが、まず思いとしてあった上で、年に何回かある大きなイベントの最大数に合わせて施設を確保していくと、当然維持補修などの、お金もかかってきますし、何ヶ所かに分けて開催したりとか、いろんな工夫を検討に入れていくことで対応させていただきたいと思っています。</p>
<p>20</p>	<p>図書館機能をコミュニティという形で駅周辺に整備するというおっしゃってたんですけども、図書館っていうのは本来、本などを整備して市民の方に貸し出すなど、本来図書館があるべき姿っていうのがあると思うが、いわゆる本館と駅前図書館との関わりっていうのはどうなのか。</p>	<p>図書館については市全体を見ていただいたほうがいいと思うんですけど、もし南中跡地に図書館の機能が来た場合には、ここを拠点に駅周辺に一つ一つと田原につくすのき小、もしくは市民活動センター跡地を活用するというふうに考えています。何故かと言いますと、当然施設においては、真ん中に集中するものもあるんですが、例えば公園とか、図書館っていうのは、子どもから高齢者まで世代を問わず、多くの方が気軽に訪れていく場所です。歩いていけるところに集える、多世代のコミュニティが形成される場所があるというのが重要という思いで、そういう分散配置にさせていただきました。お示しの通りメインっていうのは、田原と西側の中央二つになるのかなと思います。大きいところと比べれば面積は小さくなってしまいますけど、図書館としての役割を果たしていけるような施設にしていきたいというふうに考えています。</p>



21	<p>300人規模っていうお話はずっと出ているんですけども、例えば体育館の中にも302人ぐらい収容できるスペースがあると思うんですけどもね。300人規模のものを2つ、3つも作るっていうのは非常に本市はナンセンスだと思う。全国のホールの利用率が48%に対して、26%というのがあると思うんですけども、全国規模では、大きな都市もあるし、小さい都市もある。その中の平均っていうことなんで。それがすべて四條畷にマッチングするとは到底思われない。だからどちらかというと、四條畷市と同レベルの市町村でどうなんだという視点で比べるべきではないのかなというのと、300人よりも、もう少しそのあたりは工夫の仕方なのかなあと思う。</p>	<p>ホールの規模につきましては、たくさんご意見をいただいております。あくまで現時点で行政として考えてる案ですという話をさせていただいて、最終的には、たくさんの方の意見を聞かせていただきながら、何が一番いいのかというのを考えさせていただければというふうに思います。あくまでホールも我々は大切だと思ってます。その上で全体としてどうしていくのかを考えさせていただきたい。ただ、少し誤解が生じてれば嫌なので、一つだけお伝えしたいと思うのですが、市民ホールっていうのは、音楽であったりとか、文化の発表の場所というふうになりますので、例えば音響の機能とかそういうものは、他の体育施設とは違うより良いものに、これはお金をかけていかないといけないって思っているので、集まれるキャパの同じ施設が複数あるというよりは、機能がやはり違うものです。ただ集まって会をやるという規模で300というのは、全然別用途として性質の異なるものですし、気兼ねなく行っていただいたりとか、発表する際に音響設備がよりよいものであって欲しいという思いで、今後この計画を作らせていただきます。ただ、一つのご意見として受けとめさせていただければなというふうには思っています。</p>
22	<p>市民ホールの規模を300人にすることについて、素案できております体育館、市民総合センターの分を併設するような形でもって、ちょっと広いスペースもあれば、皆さんとこの辺も少しは何とかなるんだろうなと思うが、そこら辺をお願いします。</p>	<p>1つの機能だけに特化せず、いろんな使い方ができることで緩和されていく。それは今後再編をしていく上で、すべての施設に発想として持っていきたい。そういういろんな用途で使えるようにしていきたいんですが、ホールっていうのは、別の音楽とかに特化した舞台とか機能もあるので、それがどこまで共有ができるかはちょっと難しいですが、何でも雑多な使い方ができるっていうものだけになると、魅力が無くなってしまいますので、住み分けもいると思ってます。ただご意見としては、共有化っていうのは考えていきたいなと思います。</p>
23	<p>市民ホールについて、縮小には反対の意見がいっぱい出していたが、縮小だけではなく建物を工夫してステージを移動するなど収容を300人から500人に変えるとか、そのようなことも検討されてはどうか。</p>	<p>最終的に場所と一定面積が決まった後は、実際の中身を詰めていく段階があるのかなと思います。</p> <p>行政としては、車椅子席の確保や親子席の確保、反響板があった方がいいんじゃないかなどいろんな議論があると思います。それは話し合いの中で決めていけたらいいと思っています。ただ、我々としてはまずは位置と一定の面積とを確定した後に中身を詰めていけたらという考えです。</p>

<p>24</p>	<p>市民総合センターの問題である。やはり文化振興という ことを市としては基本にしないといけない。やはり市民総合 センターが利用しやすいものであって欲しいし、ある程度 の規模も欲しいという意味で、せつかく文化団体の方が 努力して作ってくれた歴史もあるわけですし、それを尊重 して、やはり文化を重視する町というのを打ち出してもい いんじゃないかという具合に思う。将来人口が減ることを 想定した場合、施設がなくなっていけば将来人口が増えた 場合、不便になる。そうではなくて、まず、人口をどうい う形で増やすのか、子育て世代が魅力あるまちにどうやって やっていくのか、そういうことを考えるべきでないか。</p>	<p>人口減少を前提にして計画を作っているのがよくないん じゃないかというご意見をいただきました。確かに我々と しても人口増加をめざした計画を作っていきたいです。こ の想いは当然強く持っています。5年前に市が人口ビジョン を作成して、平成27年には、5万7683人、令和2年には5 万7338人だろうというビジョンを作っていたわけです。た だ実際は平成22年からずっと下がってきていて、5万 5797人まで減ってきている。ただ、平成30年については何 とか少し回復してきた。我々としては、この回復傾向を何と か続けていって、人口ビジョンに追いつけるように頑張っ て、めざしていきたいんです。ただ、増える税収の前提のも とを財政運営をしていた時に、いざ達成しなくて、借金で財 政が回りませんと、これは無責任と思います。</p> <p>我々としては人口減少社会の中でも選ばれていくまち づくりにしっかりと取組んでいながら、財政運営に関し ては、厳しい視点で、次世代が負担をこうむらないように運 営をしていく。両方の観点で取組みをしていく必要がある と思っています。</p> <p>あくまで今回この公共施設の話を見せていただいて人 口増加への記載がないというお話あったんですけども、 市として一番上に総合計画があって、その中にいろんな計 画あります。この四條畷総合戦略というものに、子育てとか 産業とか、様々な政策が記載されております。11年ぶりに 回復傾向となった人口の方向をなんとか維持していきたい。 その上で今の現実も見据えながら施設の維持管理をし ていくとこういう二本立ての考え方なので、悲観的に作っ ているというわけでもなくただ楽観的にやっていくという わけでもなく、きっちりやっていかないといけないという ふうに思っています。</p>
-----------	--	--

25	<p>今日初めてこういう膨大な総合計画を聞かせていただき、老朽化している現状はよくわかりました。例えば、他の市と比べていわゆる文化施設が非常に見劣りするということですか。</p> <p>他のどんな小さな市町村でも、NHKののど自慢ができる施設が充実している。今回市民ホールを小ホールにするということなんですけど、やはり金だけじゃなくて市の顔としての市民ホールが大事だと思う。お金がないのであれば、その施設を充実させればいいと思う。</p> <p>中之島公会堂なんかものすごい古いですけど、それなりに味があるというか、コストだけじゃなくいろんな形で施設を利用して、市の顔としてそういうものを作らないと。要は市の顔として市民ホールを充実して欲しいという意見がある。</p>	<p>おっしゃっていただいた通り、施設に投資して魅力あるものを作っていくことで、さらに魅力を上げるというような取組みは、これまでおそらく各種とやってきたんじゃないかなと思います。</p> <p>今市に土地が十分にあって、そういうことに投資している中でそれを選んでいくっていうのはあり得る方策とも思います。</p> <p>ただ、現実的なところ、各施策、特に子育て支援含めて高齢者の方々の支援であったりとか、様々な求められてる政策もたくさんあると思います。そうした中で、人口を増やす努力はしておりますけれども、日本全体として人口減ってきている中で、税収も減っていきます。人口が減った先に、誰が担っていくか。それは今の若い子ども達の世代なので、市全体で箱物にかかるお金っていうのは、必要最小限に抑えていって、次世代に先送りしないという考え方です。</p> <p>本日5回目の意見交換会の中でホールの面積とか、機能の拡充したほうがいいという話はたくさんいただいておりますけれども、まず財政が次世代に負担をかけないというものを基本方針で守らせていただいた上で、中身のところは柔軟に考えさせていただけたらと思います。</p>
26	<p>市制40周年の式典の中で、のど自慢をどうかということでNHKに行ったことがある。非常に残念なことなんですけど、地方ののど自慢をできる会場としては、当時ですが、やはり1000人規模が欲しいとおっしゃった。</p> <p>結局、規模の問題でどうすることもできなく諦めた経緯がある。私たちの市民ホールは現在700ちょっとの規模があるから、いつもそれが基準としてあるんだと思う。指針として財政的な問題、利用率の問題等含めてそれを300人ぐらいの規模にしたいと。中身の充実を考えて、四條畷の市民ホールとして規模は小さくなったとしても、こんな特色がある会場だというようなことも考えられるんじゃないかな。</p>	<p>ご意見という形かと思いますので、受けとめさせていただければと思います。</p>

27	<p>やはり当事者が文化協会としては文化協会としてのすごい熱い思いがあることは事実である。特に重点的なことについてはですね、市長さんがおっしゃってますけどもこれが結論ではない。だから今後いろんな形でですね、やっぱ話し合いする中で決めていきたいと。</p> <p>ただもう5年かかっているわけですよ。やはり一定のところ、やっていかんとですね、いつまでたってもできないということになる。その辺十分お話の機会を設けてですね、いろんなところから意見を聞いて、よりよい四條畷をめざしてやっていただければいいのではないかなというふうに思う。</p>	<p>ご意見という形かと思しますので、受けとめさせていただければと思います。</p>
28	<p>昨今よく市民ホール使ったイベントが増えてきたなというすごい印象があるんですけども、前回市民ホールでやられた時、幼稚園、保育園の発表会、大体400席程度は埋まるんでそれくらいの規模は必要ですよということで、お話があったと思う。実際300にした時にどういう活動をしていただくのを視野に入れて、300という設定に現状なっているのか。また、もし増やすとなればどれくらいまでの規模を増やす計画されているのかというのをちょっと教えていただきたい。</p> <p>後、ちょっとこれは多分市長のくせだと思うんですけども、私、意見を言うてる時に首をかしげる。市民としてはすごく萎縮して僕ら発言がなかなかできにくくなるんでそこはちょっと気づけてもらったらと思う。</p>	<p>700から300っていうのは割合でいくと半分より小さくなってますけど、面積自体を半分以下にしていきたいということではありません。具体の中身については、繰り返しになるんですけども、利用者の皆さんと今後一緒に決めていきます。ただ、地域全体のいろんなところがそれぞれ一定施設の面積の最適化を行っていく上で、例えばホールを今より1.5倍とかにするんだったらやはりどこが諦めていけないといけなところも出てきます。全体の中でどれくらいの規模で抑えさせていただくか、一緒になって考えていきたいと思います。</p> <p>私も人間なんで、あれそうやったかなと思う時などには首をかしげてしまうのは許してもらえればなと思います。</p>
29	<p>市の出した資料に市民ホールのことがあります、規模を1000人収容するという意見が記憶に残ってたもんですから、家帰って調べたら、やはり市民総合センターの収容人数は1000人以上、多目的に使える小ホール、それと1000人以上収容できるホールを中核にしていることが書かれているのに、なぜ、ホールの規模を縮小させるのか。</p>	<p>行政の計画案という形じゃなくてワークショップで出てきた案の一つとしてそういう考えが出てきているものなので、行政側で1000人以上にするとしたことではないです。</p>

<p>30</p>	<p>文化協会としても、市民文化祭これ市から委託されてや ってるイベントなんです、おかげさまで年々増えてい っている。それに、やはり会場がいっぱいになるようなダンス なんかもあるわけですね。その市民文化祭で一生懸命やっ てらっしゃる方の中にですね、田原からも来てらっしゃる 方がいる。その方がわざわざ田原から来られる。やはり私た ち市政より1年遅れで、今年48年になります、頑張っ てきた。</p> <p>四條畷市の文化芸術振興計画の中に、既存の施設の整備・ 拡充に努めるってことも書かれている。市がそういう ふうなことを計画してるにもかかわらず、それと全然違う ような計画を打ち出してるとのことについて、ものす ごい疑問を持っております。</p> <p>せっかく皆さんのいろんな意見が出た中で、多かったの は市民総合センターの話が一番多かったように私は思う。 やはりそれが関心事じゃないかなと思っているので、よろ しくお願ひしたい。</p>	<p>文化芸術の進行の計画についてお示しいただいた点につ いて、四條畷市として、文化芸術のみならず様々な分野があ ります。いろんな行政の各分野について当然市としては、今 日よりも明日、明日より明後日、より良くしていきたいと、 充実して利便性が高いものにしていきたい。これはすべて どの分野において、文化だけが一番でとかじゃありません。</p> <p>その上で、市のお財布はひとつに限られてますので、全部 を施設だけで、賄っていくのかっていう話とは、また別にな ってくるのかなというふうに思います。今ある施設という ものの老朽化とかも踏まえていった場合にどうやったら箱 物だけじゃなくて他の面でも、行政として施策を打ってい けるのか。</p> <p>全体を考えていった場合に、箱物に対しては7億円ぐら いに抑えさせていただいた上で、箱物以外に求められてる 政策もしていかなければいけないということになります。 当然、縮小になるってところはホールだけではなく、全 体の最適化の中ですので利用率が低いところは集約化した りしていきたいと考えています。</p>
<p>31</p>	<p>ちょうど文化芸術の話が出たので、私は四條畷引越して きて、まだ2年ぐらいなんですけども、ちょっと今度新 しくオーケストラの団体を立ち上げました。今日は初めて 来さしてもらったんですけど、大変いろんなこと勉強にな って本当にありがたかった。ちょっと席数のことを皆さん 盛んに言われて文化に関して皆さんこんなに関心持って くださってるなと思っており嬉しいんですけど。人口に対 するその席数の方でいろんな市町村の数の割合っていうか、 そのバランスっていうのは、他の市町村はどうなっている のかってことを教えていただきたい。</p>	<p>一律には言えません。やはりいろいろな経緯があるのが 施設の特徴として、特に自治体の規模の割にはものすごく 大きなホールがあったりする自治体も当然あったりするの です。平成の大合併とかの際は、合併する市町村とかは、合 併特例債という特殊な借金ができ、借金がほとんど帳消し になる借金っていうのがあります。借金しても後でほぼ 全額国から戻ってくるので合併を進めていたわけなんです けど、そういうものを適用して一定の自治体の規模のと ころでいくと、その自治体のサイズとは思えないような、例 えば大きな施設があったり、過疎地域だと有利な借金とかあ るので、規模だけでなかなかどうって言うのは言いづら いところではあります。他市も今後、個別施設計画の中でどう されるかっていうのは見て注目していきたいなと思いま す。</p>

<p>32</p>	<p>ホールの件なんですけれども、300 っていうのが決まっています、それに対して市民ホール、市民総合センター使っている利用者の間では、300 になったら何ができるんだろうってね、実際夏祭とか、吹奏楽とか、大勢の人が集まってやっているものが本当にどうになってしまうのか。</p> <p>他市に借りにかないといけないのか、仮にそこでできたとしてもお客さんまでは呼んでくることはできません。一番聞いて欲しい市民の方には聞いていただくことは難しくなるので。他市を借りればいいということでもないと思う。300 のホールだとそれに伴うステージの面積が限られてくるんではないかというのが心配である。</p>	<p>おっしゃっていただいたステージとか、まさに今おっしゃっていただいたようなことも含めて、利用される方々のお声を聞きながら、場所と面積が決まった後にどうしていくか。それは今後話し合っていきたいと思いますが、席も残して、舞台も広げて、反響板もつけてっていうのは、なかなか難しいというところは一定ご理解いただきたいです。</p> <p>場所についてなんですけれども、アンケートとかで意見で 1 番多いのはですね、駅前にそういう公共施設ホールなりのあるのが皆さん一番利便性としては一番いいんじゃないかっていう声結構ありました。駅は市のどちらかに偏った位置になってきてしまうっていうのがあるので、市の施設の集約地としては、東部からもアクセスしやすい国道 163 号を中心に据えて、この真ん中の辺りで一定集約させていただきたいと考えます。南中学校が遠いというようなお話もたくさんいただくのですが、全体を俯瞰したら基本的には中央位置でないのかなと思っています。</p> <p>市のまちづくりの中で中心付近に施設を集めていきたいという考え方ですので、著しく偏ったエリアにあるというわけではないと思います。ただ、おっしゃっていただいた通り、今あるところの方がなじみがあって、利用しやすい。これも当然僕もその通りだなというふうに思うので、また今のいただいたご意見も踏まえさせていただいた後に、最終的にどういう案がいいかというのを考えていけたらと思います。</p>
-----------	---	---

### 3 社会教育系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>歴史民俗資料館の場所を移転すればいいというものではなくて、要するに、展示物を見にくいという場所ではなくて、散策して歴史を楽しむ。その中で、古代から中世、明治の近世に至る歴史の雰囲気を感じていけるような場所にしていける。これもやはり、一つの施策ではないかと。今の地域のあり方からすればいろいろな規制をするなり、道路の補修改善をするなり、色々する必要がありますけれども、それでできるならば、歴史遺産をうまく利用する方法かなという具合に思う。</p>	<p>歴史的価値がある場所だというのは存じ上げております。昨年のワークショップ時にもいろんな意見が出ました。あの場所にあることに意味があるっていう方と、非常にアクセスしづらい場所にあるので、例えば観光バスで入ってきてもらうみたいなことができなとなると。やはり素晴らしい歴史を持つてる四條畷だからこそ多くの人にバス等でアクセスできる場所に展示することで、もっと四條畷のことを知ってもら方がいいんじゃないかと考えています。</p> <p>ただ、元々ある土蔵等についてはきっちり管理していこうという考え方と、やはり狭くてもあそこがいいんじゃないかと。これは両方の意見があったかなと思います。ただ現時点で、本市としては、より多くの人に四條畷の歴史を知ってもらいたいという意味で、今あるところよりもアクセスが良くなる場所に配置できたらという考え方をしております。</p>
2	<p>歴史民俗資料館であるが、これ有形文化財で、国で指定されているので、そこにあってこそ、歴史民俗資料館かなとこのように思うんですけども移転するというようなお話ですので、その理由などを聞かしてほしい。</p>	<p>資料館に関しては市民の方々によるワークショップで、かなりいろんな意見を出していただきまして、おっしゃるとおり、あの場所に価値がございまして、あそこにあることに意味があるということも十分理解しております、教育委員会もそれは非常に大事なことだと思っているというふうに私も聞いてます。その上で、抱えてる制約条件も当然あります。バスで進入できず、多くの方に見てもらいづらいとか、周りの北河内に比べて本当に歴史の長い町で、我々の誇るべき歴史を多くの人に触れてもらうのもは重要ではないかなという意見と、あの立地が大事っていうこともどちらかが正しいとかっていうものではないと思います。ただ、市民の方の意見、ワークショップの意見を聞いていった場合に、せっかくいい歴史があるのに、多くの人に見てもらえない場所にあるっていうのも改善の余地があるんじゃないかと思えます。</p> <p>あの場所自体に価値があるというのも事実なので、それに関してはきっちり今後も費用かけ管理していきます。かつ多くの人に見てもらいやすい場所施設を移転することの、両方をしていきたいなという考えであります。</p>

<p>3</p>	<p>歴史民俗資料館から他市に貸し出しをして展示させてもらうっていうこともできるんじゃないかと思うのですが、わざわざ移設する必要はないんじゃないかと考えるが、その辺のところはいかがか。</p>	<p>古い建物であるのは事実でして、地震の時とか、大雨のときとかも踏まえて、かなりいろんな影響が出てきてる。なので残すとなれば一定お金をかけて、安全性の確保っていうのはきっちりしていく必要があると思いますので、別に移動させるからお金がかかって、今ある場所だとお金がかからないというよりは、どちらにしてもお金はかかります。その時に多くの人に見てもらうことを優先するのか、その位置を大切にしていくのかっていうのは決めきれておらず、今ご意見もいただきましたので、また教育委員会等の考えもあると思いますので、それらも踏まえて最終的には決めていきたいと思います。</p>
<p>4</p>	<p>土蔵が重要だとか、歴史民俗資料館があるというのを知らない市民の方も大勢いらっしゃると思う。だから移転して見てもらうってことより、ここの場所に、なんでこの資料館があるのか根本的なものを、もっと市民の方に知っていただく努力っていうのが、市として必要なんじゃないかと思う。お金がかかるとか、かからないとかじゃなくて、他市からでもここに見に来てくださってる資料館を、四條畷市の人が余りにも関心が少ないっていうのは、ちょっとどうなのかなって思う。市は努力をもっとするべきではないのかな。移転したところで興味がない。その内容知らないってなったら、いまとあまり変わらないのじゃないかなっていう気がした。</p>	<p>運営面の話かなと思います。文化財担当の職員としても、色々な取組みをやらせていただけてますけども、市民の方全員が知ってるかっていうとそうではないのかな。ただ本市で生まれ育った子ども達なら、行ったことがないっていうことはいないと思います。必ず何かのタイミングで訪れると思います。確かに他市から来られた方にもっと知ってもらえたらという思いはあります。文化財行政に力を入れていかないといけないと思うので、貴重なご意見として受けとめさせていただければと思います。</p>



<p>このような公共施設の再編には非常に重要な案件である。早急に文化財保護審議会を開催して意見を聞いていただきたい。</p> <p>この場所に設置した大きな三つの要素があると思うんですが、それは何かご存知か。</p> <p>設置する理由の一つには、当時の東高野街道に面してるんだということ。現在もその団体の見学者の大半がやはり東高野街道歩いておられる方々である。</p> <p>二つ目として、歴史民俗資料の展示物である。これは明治40年に大阪の地方裁判所で四條畷出張所として新築で建てた建物ですから。文化庁の調査官が1番目におっしゃっていたのは、建物を生かした歴史民俗資料館を作りなさいというのがある。その理由は大阪地方裁判所建物の後に法務局として使われ四條畷出張所であるが、そのあと南小学校の東側に移転をしていただいて、その建物が残ってるってことで、全国的にも非常に価値のある建物だからである。</p> <p>それと、三つ目が大きな問題として当時市民総合センターの一室に展示室を設けようという話の案もありました。しかし拒否をされた理由ってというのは、この四條畷の歴史を十分理解をしていただく目的をもって来館していただくために今の場所に設置させていただいてという経緯なんですね。</p> <p>ですから、今ここで先ほどご説明していただいた歴史民俗資料館の利用状況からの見直しというのが書いていただいているわけですが、ご存知通り昭和60年ですね、開館させていただいて、その時の入館者が年間3000人から4000人であった。</p> <p>それと平成10年からは施設管理公社で管理だけをしていただいてそして運営につままして私たちが現職でおりました時に展示会をさせていただいて年間6000人から1万人という数字になったわけである。この1万になった理由ってというのは、やはり子ども達の塗り絵だとかいろんなことを踏まえていただいて、増加に繋がったということである。</p> <p>直近では平成30年度の入館者数が9612名お越しいただいておりますので、市町村の公共施設の資料館のあり方から考えますと人口割でいきますと、大阪の中でも、上位を占めているのが四條畷の資料館だろうと。やはり今唯一文化庁の施設の状況から考えると、この四條畷の歴史民俗資料館ですので、やはり我々は誇りに思っておりますので、何とか残していただきたいという希望をお伝えしておきます。</p>	<p>市民活動センターでは、歴史民俗資料館のお話がおそらく一番多かったという思います。その時も私からお伝えをさせていただいたんですけども、歴史的な背景等も踏まえて、今の場所がいいんじゃないかということと、やはり道の狭さとか駐車場の関係とかも含めていくと、さらに見ていただける環境にしたほうがいいんじゃないのか。どちらも意見が出ているという状況です。これに関しては、今行政の案としては、アクセス面も含めて、より多くの人に見てもらえる方がいいんじゃないかという苦渋の決断をさせていただいたんですけども、今おっしゃっていただいたような観点も十分あるなというふうに思ってます。これに関しては本当に今悩んでいるという状態です。なのでご意見受けとめさせていただいて、何が一番いいかというのは、今後考えさせていただけたらと思います。</p>
--	---

#### 4 スポーツ・レクリエーション系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>今年から四條畷で子ども達に合気道を教えている。残念ながら四條畷の体育館に武道ができる畳の部屋がない。現状は、市民活動センターでマットを敷いて活動しているが、子ども達は、痛がっている。体育館を改築される場合には、畳の敷ける部屋をお願いしたい。</p>	<p>今後、具体的な内容を検討する際に、参考にさせていただきます。</p>
2	<p>畳のある体育館は賛成である。</p>	<p>ご意見として頂戴いたします。</p>
3	<p>私たち今この市民活動センターの多目的室で体操している。何かここは使えなくなるという噂を聞いたもんですから。くすのき小学校との連携もかいてますけど、いつまでは使えるのか。</p>	<p>市民活動センターは、旧耐震基準の建物となっています。そのような現状で、様々な活用をいただいています。多目的室も体育館も本当にたくさんの方にご使用いただいている状況です。</p> <p>この建物自体をまた新しい耐震基準にして、全面的に綺麗にしていこうとなると費用がかかってきてしまいます。くすのき小学校も統合以来、クラスも減ってきてしまっているというような現状もあります。そうした中で機能を多機能化させていただくというのを見据えています。この移転の際は、子どもの安全を何よりも大事にして、学校に誰でも入れる環境は作れないと考えていて、他市の事例でもあるように、大人と子どもの入口を分けてしまうと、様々な検討がいると思っています。これを進めていくというのが前提で、それまでの間はしばらく現在場所をまだ数年は使っていただくということにはなると思います。</p>

4	<p>市民活動センターは、多目的室をくすのき小学校と多機能化、体育館は維持をするという形になっている。市長の説明では、別の入口を設けて小学生と大人をバッティングしないというような形にしていくとおっしゃったけども、これ簡単に言ってしまうと居候じゃないですか。なぜ、この利用率の多い市民活動センターがそういう形で冷遇されなきゃならないのか。国道 170 号より西に公共施設が少ないから、形だけ市民活動センターを残す。私はそのぐらい勘ぐってしまう。この計画を見ると、市民活動センター利用率も多く、いろんな機能を果たしている。そうした市民活動センターこそ建て替えるなりの形にしていかなければならないと思う。このような形の居候、これを利用者の方は容認しているんでしょうか。或いは、市民活動センターに関わってる職員さんたちは、これでいいと考えておられるのでしょうか。その点、市長はどんなふうにお話をされているのでしょうか。それを教えていただきたい。</p>	<p>市の中で、お互いに共有して使っていけるものは使っていこうと。二丁通町とかは、昨年でいうと人口が増えている地域です。市域全体として多いのは、子どもが伸び伸びと遊べたり、いろんな世代の方が憩いの場として訪れて読書したりとか、小さな競技ができたりとか、そういう場所があったらいいんじゃないかっていう声があるのも事実です。でするので、いま北出広場がございすけれども、広場が道に接しているという性質上、ボールが飛び出たりして近隣の方々に影響が出てしまっているというのがあって、なかなか自由に使うっていうのは難しいという現状です。なので市民活動センターを今後考えさせていただく場合に、駐車場等も備えて、気軽に訪れていただいたり、子ども達は思いっきり羽を伸ばして遊ぶなど、多世代の人が憩いの場として使える機能と、旧耐震基準の体育館を改修していきながら、体育館も使っていただけると。くすのき小学校の生徒数が減少をしてしまっているという状況も考えたら、お互いに使える部分については、共用していくということで、このエリア全体にとって今無い機能とかも、使えるところが増えればいいなという考えです。なので、国道 170 号の西側地域から施設を奪っていくとか、そういう発想で考えている計画ではないということをお伝えはしさせていただきたいなと思います。ただ、おっしゃってる通り、入口を分けてっていうことは、簡単じゃないと思ってます。なので、学校現場ともしっかりお話をさせていただいて、まずはトライをさせていただきたいなと思っています。</p>
---	--	--

5	<p>歴史民俗資料館に関して。市長は他市から来訪者がいないということを悔しがってはります。私も悔しいです。ところが来訪者というのは歴史民俗資料館の前まで大型バスが来なきゃならないという発想なのかということが疑問なんです。例えば、駐車場が少し離れたところにあったとしても、駐車場から歩いて歴史民俗資料館に来訪するということは可能です。ということは歴史民俗資料館をもっと宣伝していけば、他市からの来訪者も増えるんじゃないかと私は考えている。</p> <p>それからもう一つ、他市から学者が来て四條畷に泊まってもらう。これアイアイランドまで行かないと泊まれないという状況なんですね。これを何とか改善するような余地はないのかな。</p>	<p>歴史民俗資料館については、大型バスと言わずとも乗用車でも入るのが厳しいのかなあと考えております。当然、駅から歩いて行ける距離にはあると思いますので、今後どういうふうに周知していくのかについて考えていかないと思います。意見として受けとめさせていただければと思います。</p> <p>お示しいただいた通り、民間宿泊施設の話になってくると思うので、今日の主旨から外れてしまうんですが、市がホテルを建てるわけではないので、別の機会で意見交換させてもらえたらと思います。</p>
6	<p>市民グラウンドは、グラウンドとして非常に悪い状態である。雨が降ると、毎回グラウンドゴルフの練習前に土を一輪車で運んで埋めてやっているんですが、グラウンドゴルフをやる人は、みな高齢者です。土を運ぶのは大変な重労働なんです。その市民グラウンドを直すような計画があるかどうか。</p>	<p>市民グラウンドに関してですが、そこに限らず市の施設全般に、たくさん問題を抱えている状況です。</p> <p>これら全ての問題解決をしようと思うと財源には限りがあり、次世代への負担を考えないといけません。施設総量が今より縮減されれば、維持管理コストも下がっていきますので、回せるようになります。今行き届いてないメンテナンスにもお金が回せるようになります。</p> <p>ただ全体像が定まらない中では、応急的に安全安心に直結するものからの順になりますので、計画が定まった後に、一つ一つ改善というところにあたらせていただきたいなと思っています。</p>

7	<p>総合公園グラウンドの利用について、使いたいけど、アクセスが悪い。グラウンドの前に駐車場あるが非常に料金が高いということで、年金生活者には非常に負担になるんです。グラウンドの利用はどのような状況なのか。</p>	<p>人工芝グラウンドの方は、平日夜は、基本的には埋まっております。夜以外の時間帯は一定空き状態になっています。多目的グラウンドに関しては2割ぐらいの利用率ですので、正直なところをあまり使われていません。アクセスの問題であつたり、平日昼間の利用の問題などがありますので、昨年度、もうこれ以上公費を投資していくというのは一旦休止をさせていただいています。</p> <p>ただ、この総合公園は大阪府内にもあるにも関わらず、あれだけの大きな面積を有している公園である利点もあります。例えばドローンが飛ばせるようなメリットがあります。</p> <p>そういうものを活かしてもらえような民間企業とかに声をかけていきつつ、民間活力も活用していきながらより使われる公園にしていきたいということを今考えているところです。バスについては、四條畷は近隣の市と比べてコミュニティバスにかけている予算が4、5倍であり、新たなルートを設定するのも難しい状況です。</p>
8	<p>総合公園グラウンドを生駒市に譲渡するという考え方はなかったのか。</p>	<p>当時の判断になってきますので、正確なことは言えないんですけども、本市の総合公園と生駒市山麓公園の最大の違いは水道施設がないということです。この点がネックとなり、生駒市としてもなかなか賛成していただけるようにはなっていません。</p>

## 5 学校教育系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>小学校のプール施設を無くすのは反対という意見が多い。西中で言えば、災害時に避難所の飲料水やトイレの流し水に使える。非常に大きな災害の発生時には、他の地域からの救援は望めないという観点から、維持できるならプールを残すべきだと思う。</p> <p>民間にプール運営を任せると、その業者が手を引けばどうするのか。その時に市長として、公としてどう責任をとるのか。</p> <p>専門家も入れた中で話をしていただきたい。</p>	<p>プールの件についてですが、昔より環境が変わり、紫外線が強くなったり等の衛生面の管理であったり、子ども達の安全性の確保であったり等の課題があります。また、老朽化が進んできたことによる水漏れについて、学校先生方の対応というのがあります。</p> <p>子ども達にとっていいものにお金を費やしたいと思っています。子ども達にとって何が一番いいのかというのをバランスで考えていくかということだと思います。</p> <p>プールについては、色々な懸念点があるというのは理解しています。民間プールを活用する市が増えている中でも、それを取り入れることに抵抗はあると思います。子ども達にとってどのように進めていくのがいいのか、丁寧に進めていきます。その上で、元の学校プールに戻した方がいいとなれば見直しを行います。今すぐに、全てのプールを無くすという事ではないことをお伝えします。</p>
2	<p>小学校プールについて、民間委託 100%はかなりリスクがあるのではないかと思います。リスクマネジメントはしっかりすべきです。それからモデル校を選出して、徐々に導入していくとのことですが、モデル校と聞こえはいいが、実験台じゃないですか。子ども達を犠牲にするかもしれないやり方はどうかと思う。</p>	<p>プールについては、子ども達にとって、紫外線にあたらないこと、安全な水質管理、プロのインストラクターの指導を受ける等のことが、子ども達にとってより良いと思っています。進めていきます。その一歩目の挑戦を否定してしまったら、新しい取組は全くできなくなると思います。一方、当然良くなると思って行ったことが、難しいことがあるかもしれません。ですので、それをどのように改善していくのか。根本的に改善できなければ、一から見直しをしていきたいと考えています。一斉に導入すれば、混乱を招く恐れがある為、まずは一校とさせていただきます。</p>
3	<p>築 40 年の建物については、60 年サイクルにすべきではないか。そうすれば経費を 17%近く削減できます。なぜ 40 年サイクルを取っているのかが分からない。教えていただきたい。</p>	<p>学校のことについて、本個別施設計画には具体的に記載しておりません。学校については、教育委員会の学校再編整備計画に書かれております。ですので、一律に建築サイクルを決めて改築や長寿命化等を行うのではなく、子どもの数や学びの環境等を踏まえて、この施設計画と併せて行っていく考えです。</p> <p>学校再編整備計画と個別施設計画は、施設というハード部分で非常に関連性が高いことから、昨年度、教育委員会で定めた学校再編整備計画の内容を個別施設計画にも記載したという経緯があります。</p>

<p>4</p>	<p>小学校を使えてるのは、これは市がやってるんですか。権利があるのは教育委員会ですか。教育長に権利があるんですか。どちらですか。</p>	<p>権限のとこなんです、学校施設に関しての学校の施設の管理者というのは、校長先生です。なので、その施設をどう貸し出していくのかという最終的な権限というのは校長先生にあります。ただ、料金とかは条例で決まっておりますので、市として条例の中で定めてます。貸す貸さないとかは学校の校長先生がご判断いただくことにはなってくるというのがありますけれども、今ここから東小の話に繋がってきます。</p> <p>東小学校につきましては、たくさんの方に使っています。本当に需要がたくさんあるのもわかっています。我々としても、どういうふうな活用にしていくのかとか、お話させていただきたいんですが、計画が定まっておりますので、ありきではできないんですね。最終的に、いま東小学校につきましては、条例上は令和2年度3月に閉じるということになっております。それと、もう学校施設じゃなくなりますので、市の例えば施設再編として所有することも出てきます。そうしてくると、そこを通じて、予約とかしてもらってご利用いただくと。ただ現時点ではすぐさま全部閉じてとかということではなくて、使っておられる団体の方たくさんいるのは存じ上げておりますので、どういうふうにしたら使っていただけるようになるのかというのを、ちょっと検討させてもらいたい。ただ計画が決まらないと次のステップにはいけないということをご理解いただきたいなと思います。</p>
<p>5</p>	<p>旧南中の2年間も放置されたグラウンドは放っておくのか、それとも工事が入るまで何年か使わせていただけるのか。</p>	<p>南中学校に関しましては、今たくさんご意見いただいているので、このままなのか、または柔軟に考えを変えさせていただくのか。ただ、避難所という観点からいくと、大雨とか大きな災害時に避難していただけたところ。これを土砂災害警戒区域外に必ずこの建てていきたいという強い思いはありますので、比較的短期に、そこに建てさせていただきたいという思いから、設計、その後すぐに工事と進めさせていただきたいので使えないというふうにしてるんです。</p> <p>東小学校については、避難所を今後すぐ建てていくとかという考えがないので、一定切れ目なく、どういうふうにしたら連続的にご利用いただけるかというのは、今考えています。</p>

6	<p>小学校は、民間プールを利用するということですが、例えば、そこへ行くのにバスとかで行けないということで、本来体育として使う授業時間を往復の時間に費やすというのは、教育の後退ならないのかと思っている。</p>	<p>学校プールの民間活用については、全国的に少しずつ広がっているのですが、まず指導において、インストラクターの方に教えてもらえるということであったり、紫外線や水質管理とかも含めて子どもの体調面においてもメリットがあります。ただ移動というのは必要になってきますが、現在、屋根がないプールで授業をやる時は、梅雨の時期に授業がなくなったりしていくのがあるんですが、屋根つきであればそういうものは見込まなくてよいことも、当然あったりもいたします。全校一斉にやっていくという考えではなくて、まず1校、モデル実施して子ども達の感想とか、先生たちのご意見とか聞かしてもらいながら、子どもにとって水泳が楽しいという意見が多いのであれば、広げていきたいという考えです。</p>
7	<p>福祉コミュニティセンターの中にある教育相談施設とか、適応指導教室、フリールームも一緒に南中の跡地に整備されるのか。</p>	<p>教育センター機能については、教育委員会から、今ある場所から遠くなってしまうと、果たしている役割が十分に果たせなくなるという意見はいただいておりますので、最終的には、現在の市役所東別館に移動し、その機能を発揮させたいと考えています。</p>
8	<p>西部地域の民間プールを活用するというのを聞きして、小学校のプールの老朽化の問題があるということで、それが上がってきたと認識していいんですか。現場の先生たちは、どのような考えを持たれてるのかなというのも気になっている。先生たちの意見も参考にしてもらえたらなと思っている。</p>	<p>先生たちのご意見も今すでにアンケートをとらせていただいている、様々な課題が生じるのを一つ一つ解決していこうと思っています。同時に、プールが老朽化してきているというのも事実なので、どちらか片方が理由というよりは、両方の問題を合わせて考えていきたいと思います。今年、小学校中心にパソコンの整備とか、やらせていただいたんですけど、すごくお金がかかるんです。加えて、これから特別教室とかエアコンがついてない学校たくさんあって、これだけ暑いのでエアコンをつけるなど、教育に投資しないといけないお金はたくさんあるので、全部のプールに投資するのが難しいのです。今あるお財布の中で子どもたちにとってより良い案を考えていきたいと思っています。</p>



<p>9</p>	<p>小学校プールの問題については、確かに民間に委託してということもやっておられるところも出てきてはいる。しかしながら、一方で大阪市であれば、ステンレス製のプールという方向に進んでいて、大体今まで作るのに1億4000万かかっていたのが、1億円程度で出来る。もう一つはやはり地震の問題。例えば、西中の場合は、プールを飲料用に使える施設がある。さらにマンホールトイレを設置しているんですが、マンホールトイレの水を使える。災害発生時に学校は避難所になるので、水の問題というのが非常に大切で特にトイレの問題というのはそれぞれの震災地で大問題になったということで、トイレ対策が今行われている。それを考えた時に、やはりそう簡単に民間に委託する、或いは民間が絶対つぶれないという保証もない。これについて検討が必要ではないかなと思う。</p>	<p>プールについてなんですけど、お示しの通り、考えていけないといけない点もたくさんあると思っています。その上で、プールの指導や日差し、水質管理等、子ども達の水泳の授業等にとって、より良いのかなという観点、意図から民間プールを活用させていただきたいという思いで西部地域は考えております。まずは1校を実施し、子ども達がどういうふうな感じるのかを見て、意向の対応をを考えさせていただきたいです。</p> <p>より良い授業環境をめざしていくという考え、意図でこれらを考えています。防災は防災で、マンホールトイレ対策、浸水の対策、トイレの対策、いろんな方策を考えて防災面、考えていかなきゃいけないというのはその通りです。ただプールの水だけをもって災害対応全部してるというわけではないので、いろんな観点から災害時には、市全体で考えていけないといけないことかなと思っています。</p>
----------	---	---

## 6 子育て支援施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>駅前に図書館と併せて、保育ステーションを整備する。これについて初めて聞いたときは斬新なアイデアだと思った。しかし少し不安になった。保育ステーションに預けにくる保護者は、子どもを一日見る保育士と面識が無いという事である。つまり、昼間の子どもの様子等が分からなくなる。</p> <p>大東市が先行して当該事業を行っている。人口 12 万人の大東市でさえ、利用数が 10 人少しのことである。これは、まだ利用者の不安があると思う。この不安を解消するための方法と、利用者のニーズを合わせて答えて頂きたい。</p>	<p>駅周辺での住宅整備が進んでいるというような状況も踏まえ、総合的な視野を持ちながら進めてまいりました。駅前は人通りが多い場所ですので、公金だけ用いて整備するのではなく、図書館や飲食のできる場所など、民間企業の資金も使いさせていただきながら、税負担を抑えていくという考えです。税収の確保に一番直結するのが、若い世代の方々に来てもらうことです。先ほど、あまりうまくいってないんじゃないかという事例をおっしゃっていましたが、当然、成功している事例もありますので、人口が増加しているという事例もございます。中身につきましては、これから現場の声等を聴きながら詰めていきたいと思っております。</p>
2	<p>保育ステーションというのは、アンケートではやはり利便性が高いというので保護者の方すごく賛同されるんですが、実際やってみるとなかなか実績が上がってこない。大東市でもされてますけれども、やはり数字としてはすごく芳しくないという形になっている。そもそも便利やからいいってものではないんですよね。子どもを育てるというのが信頼関係の中でっていう話もあるので、我々がやっているような保育園というのは、その保護者の方との信頼関係の中で子どもを育てるので。実際に他市でやられて数字が伸びないというのが、そういう保護者の気持ちを理解せずにただ単に便利だということで行政サービスを考えられるからと思う。さらに、やはり財源がすごく限られてる中で、そもそも本当に必要とされてないサービスを、それもなぜ 3ヶ所。基本的には、やはり一回やって実績を見ながらという話が入ってるんですけども、それはもう少ししっかりと書いていただきたい。計画の中に入れていただきたいことにはなりますし、子育ての意味を行政として取り違えておられるんじゃないのかな。便利だからいいというものはない。そこはちょっと考えていただきたい。</p>	<p>保育ステーションに関しては、目的が 2 種類ありまして、一つは、各園の中での定員に対する募集の数の差があって定員以上に応募があることと、定員よりは多くない募集のところが差が出ていると。新しく新設させるほどの待機が出てくるわけじゃないので、そのエリアごとの待機児童の差を滑らかにするという目的でステーションを置くという考え方と、2 点目に、利便性というもの。ご指摘ありましたけれども求められているか否かで言うと、毎年毎年、延長保育の予算が大幅に増えてきています。延長保育の予算が大幅に増えてるということは需要が大幅に増えているということになります。ですので、そういう方々に対して、考えていくという利便性の点。1 点目、2 点目と二つの視点があります。大東市は 1 点目のところを重視されているのかなと。というのも数年前まで大東市は待機児童が 100 人ぐらいいた時期があったんですが、今年度当初でも 0 になっていってると。その募集状況の定員状況の差を埋めていくと目的は果たされているので、利用者数が少なくても、政策目的は達成されているので、私としては効果がある政策をされているんじゃないかなという所見を持っております。</p>

3	<p>子ども達が一番過ごしている保育園、幼稚園及び学校等の施設。四條畷の学校は、やはりすごく老朽化しますし、壁もペンキ塗りとか、サッシもがたついているとか、階段の滑り止めが剥がれて飛んでいってしまったりとか、そういう状況である。やはり公共施設、市全体での問題ですので、いろんな議論があって、時間がかかるのはわかるんです。ただ子ども達の環境があまり良くないし、他市においては、やはり子育て支援の一環で施設をどんどん改修していっていますので、是非ともそこに関しては別立てで考えていただきたい。</p>	<p>学校や保育所等の施設の改修は別立てで考えたほうがいいんじゃないかという件ですが、予算は一つです。なので何かに投資をしたら、どこかはその分諦めないといけない。学校などの改修は先送りにしてきた。平成10年ぐらいから財政が厳しい時期ありましたので、今回、なぜ施設を集約すると述べてるかっていうと、学校などが改修できてないだけじゃなくて、例えば、これだけ暑いと特別教室や、避難所の機能にもなる体育館にエアコンがいるんじゃないかとか、プログラミング教育が始まるからパソコンがいるんじゃないかとか、もう本当にどんどん必要な予算というのが、増えていってるのです。その中で全部できればいいのですが、人口が減ってるということは、税金は下がってきていますので、何とかこれを回復させる努力をしています。回復傾向にもありますが、それでも需要に対して追いつかないのです。なので、やはり子ども達が長くいるところなので学校をきれいにしたいという思いはありますが、ただ別立てでは考えられないので、この計画の中では、その改修費用とかも全部含めて、全体の優先順位つけながらやらせていただきたい。おっしゃる通り、子ども達が長くいる環境は、しっかりと改修を進めていきたいと思っています。</p>
4	<p>保育所を市民総合センター跡地に移すという話なんですけど、送迎の保育ステーションといますか、それを忍ヶ丘駅と四條畷駅近辺に設置をする。そこで子どもを預けていただいたら、その子どもをステーションの方が各園に連れていく話で説明を受けましたが、各園に直接預けたいという親御さんが非常に多いということで、多くの人が利用するとは思えない。</p> <p>そうすると、むしろ保育所というのは駅に近い方がいいんじゃないかという事である。これは子育て世代を対象に聞いてみる必要があるんじゃないかなという具合に思っている。</p>	<p>現在、公立の子ども園と保育所が、西部地域の北側に2つあるという状態になってきています。20年後ぐらい経った時に、もしこのままの速度で若い世代や人口が減ってきた場合に、ちょうど公立園1園分の子どもの数が減るという予測になります。</p> <p>公立園を2つ絶対に残すとなると、民間園さんの方に定数割れというしわ寄せがいきます。なので公立園としては、市全体を見たときに、なるべくアクセスしやすく、両方の駅から一定中心の距離にあり、どこの地域の方にとっても一定公平な場所にあったほうがいいんじゃないかというようなご意見もありましたので、真ん中の辺りを考えさせていただいております。</p> <p>ただ、今おっしゃっていただいた通り、真ん中になれば両駅からは離れるということになりますので、なるべくそういうステーションのようなものを活用させていただいて、駅にお子さんを預けたままお仕事に行っていただけるような環境を整えていきたいと思っています。</p>

## 7 保健・福祉施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>福祉コミュニティーセンターで焼き物サークルをやっている。施設が古くなっており、窯が使用停止になった。新しい施設にも期待しておりますが、今まで通り活動ができるように、今のコミュニティーセンターも並行して整備して欲しいと思う。</p>	<p>現状の窯が使えない状態というのは多くの人からお声をいただいておりますが、それについてすぐに対応出来るかは、この場ではお答えできませんが、検討はさせていただきます。</p>
2	<p>さつき園の廃止について、文言の中で「廃止」という言葉がある。もともとさつき園というのは、市の自前の施策で、障がい者の小規模授産施設という事で、障がい者の生きがいづくりをし、現在も利用者が増えていると聞く。それが、先ほどからの説明では、他の事業者も同じように運営しているから、出ていきなさいというように聞こえる。ですので、「廃止」という言葉を撤回していただきたいと思う。このことが計画に上がっていること自体が問題だと思う。</p>	<p>さつき園がどのような施設かというのは、理解しております。確かに「廃止」という言葉は非常にきつい印象を与える言葉です。これまでの経緯は解りつつも、現在、他の福祉法人は場所を借りたりして運営している中で、さつき園だけ、市が保有する公共施設を使用してというのは違うと思います。ただ、さつき園を無くすことは、さつき園にとっても、利用者の方にとっても影響が大きいことですので、今すぐという話ではなくて、これから丁寧に対応させていただければと思います。非常にきつい印象を与える言葉を用いたことは反省しております。</p>
3	<p>障がい者のところについては、いろいろ検討されたと思うのですが、突然、出ていってくれと言われたような印象を受けておるんですが、やはり弱者の人は情報が入りにくいし、余計こういうところは、事前に丁寧に打ち合わせをしてあげないといけないと思う。その結果、民間に移すとかそれはまた方法論の問題ですよ。</p>	<p>さつき園のことにつきましては、通っておられる方々の個性特性ということも踏まえさせていただいて、決して出て行けということではございません。どのようにすることがその施設の利用者の方にとって一番いい結果になるのか。我々も記載方法については、反省しております。廃止というように書くと、まるで本当に出ていけという表現に聞こえてしまう。そうではなくて、例えば今の場所に残っていくためにどういうふうにしていけるのかと。ただ、やはり福祉法人で唯一ここが公共の建物でやっていただいている中で、その改修費用をずっと市が出していくのかと。他の福祉法人の建物も全部市でみてもらえるのかと。こういう話に広がっていくので、それはやはり整理をさせていただきながら協議をさせていただきたい。</p>

4	<p>コミュニティーセンターで断酒会を使用料無料で利用している。場所が変わって有料になったら苦しい。地図はあってもたどり着けないので、コミュニティーバスの本数を増やすとか、バスの色をわかりやすくしてほしい。一番言いたいことはちゃんと保健所を通してやっているのでは是非無料をお願いしたい。</p>	<p>この施設再編をもって、減免規定を変えていくという考え方にはごさいませんということはお伝えさせていただければと思います。コミュニティーバスについては、本市は他市に比べ人口一人あたり 4.5 倍くらいの予算をすでにかけてやっている。バスの色については、ちょっと検討させていただく余地があるかなと思いますが、例えばバス停をわかりやすくするなど努力はできるかなと思います。今、配置が決まっていないので具体的なルートを申し上げるのは難しいですが、一定施設の配置が決まれば、当然集約施設についてアクセスを公共交通で考えていくと、これは当然やらせていただきます。</p>
---	---	---

## 8 行政系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	市役所の移転について、今の本館と東別館でも利便性が悪いと感じている人がいるのに、さらに離すとなれば余計に利便性に欠けると思う。現在の場所で建替えて運営すべき。	市民の方が手続きの際に建物を行き来しなくても済むように施設を一体化したいと考えております。機能の集約化を図るため、その先々でどのようにするかは考えていきたいと思えます。
2	市役所を建て替えることは大賛成である。	ご意見として聞かせて頂きます。
3	市役所庁舎は他の施設に比べてかなり古い。昔から移転の話が出ていたが一向に移転もしないし、職員も狭い事務所で窮屈でかわいそう。整備していただきたい。	確かに庁舎は相当の経過年数が経っていますが、耐震化の工事も済ませており、災害も直接受けにくいエリアですので、私は市役所が一番最後と考えております。市民の方が利用する公共施設を先に整備した後に、整備にかかりたいと考えております。
4	市庁舎は中期で動かすのですか。今書いてないんですけど、現市庁舎の用地というのは売却とかそういう話になるのですか。	<p>市役所というのは災害時に防災の司令塔になってきますが、現建物の耐震補強は完了しています。他の公共施設の状況を考えた場合、まずはそちらを整備させていただいて、最後に市役所と考えております。場所の移転というのは、今ある場所でも構わないというふうに正直思っています。</p> <p>ただ問題は、保健センターと市役所が別々にあるということから、例えば福祉の窓口来てくださった方には保健センターへ行ってもらってと行き来が発生してしまっているため、合わせて立地をさせていくことで行ったり来たりしてもらわないように整備していくという観点から、今はこの案というふうにさせて頂いています。</p>

<p>5</p>	<p>四條畷市の市役所を今の市民総合センターのところへ建て替えるという話ですが、もともと今の農協の横に役場があったわけで、今の市役所の辺が中心ということで、徐々に拡大されてきた。まだまだ北側には余裕があると思う。耐震化も出来ているので急いで市役所をつくる必要もないだろうと。だからあそこは北側に 5 階建てぐらいの市役所を作って、やはり国道 163 号に面してますし、それぞれ裏側に清滝川もありますので、あそこの橋をもっと広くすれば、もっと便利になると思う。一つ考えていただいたらどうかというように思う。</p> <p>それともう 1 点、一時避難所がやはりあの辺りがない。東小学校も土砂災害の指定地域になっているので。運動場のようなどころがあると、一時避難所ということで使えるわけである。あの辺りはしっかり考えておかないと、権現川は非常に危険な川なので。大雨が降るとすぐ土砂崩れが起きて、滝木間とか、畑中の辺りはそれで被害を受けたこともある。あの川は一番危ないと思う。そういう意味で十分配慮をいただきたいなというふうに思う。以上です。</p>	<p>市役所について、急いでというふうにおっしゃっていただいたんですけども、我々としては、むしろ最後なので一番急がないというふうに思っております。5 階建てというような話もあったんですがどちらかというと、今から 20 年ぐらいもすればですね、いろんな機械も進んでくると思うので、おそらく市役所の面積というのは、もっともっと小さくしていくべきなんじゃないかなというふうに私としては考えています。一番後回しにして、なおかつ、市役所にかかるお金が一番最小限にしていくっていうことで、残りの施設にそういうお金とかまわしていきたいというのが、今私が考えていることにはなります。</p>
<p>6</p>	<p>現市役所の跡地の問題を言われておりましたけど、今の市役所を後ろの方へ持って行って、建替えたらいいんじゃないかと思うが。なぜ、市民総合センターまで持っていかなくちゃいけないんだろうかと。今の市役所ちょっと階数を増やして、北側へ持って行く。そういう考えは出てこなかったんでしょうかね。一番いいとこにあるのに、なぜ他へ持って行くのか。近くにはいろいろと市が持つてる建物があるはずなんですよ。それをまとめていくことも考えておられないんでしょうかね。今の建物をちょっと階数増やしてでも北側へ持って行くのが、ものすごく使い勝手一番いいんじゃないかと思うが。</p>	<p>市の建物がいっぱいあるっていう点は、そうでないと思います。おっしゃっていただきました通り、必ず移転をさせたいということでもなくてですね、これ今 1 つの案となっておりますけれども、直前の案までは、今の場所でのいうのもありました。移設する必然性はございません、土地がいっぱいあるわけではなくて、動かすとしたら、ちょっとずつ空いてる土地を使っていくと思うんですけど、そこで残していくという考えもあると思います。</p> <p>ただ 1 点だけ、保健センターは市役所との行き来が生じているのは事実で、別に保健センターを今の市役所のとこに持ってくるっていうのも一案だと思いますし、あまり行き来してもらわなくて済むような形にしたいっていう思いがあります。そこに固執してるわけではないですが、全体の中で今の案を示させていただいているというような状況です。いずれにしてもこの計画自体は、5 年ごとに見直しさせていただきたいと思っております、市役所が一番後になってくるので、2、3 回見直した後の話になってくると思います。市の人口動態や財政状況がどうなっているのか等も踏まえて判断をしていくことになると思います。</p>

7	<p>市庁舎が市民総合センターの跡地に移転すれば、元のところへ帰るってわけではないんですよね。東別館は残すみたいですけど、現庁舎があるところはどうするかっていうことが載ってないんですけども、その場所はということになるのか計画ございますか。</p>	<p>いま示している案については、庁舎の跡、何か計画をしているという状況ではありません。なぜなら、市役所は最後だからです。ただ、この計画自体は冒頭で説明させていただいたとおり、5年ずつ絶えず必ず見直しをさせていただきたいなと思ってます。今時点では、そのあとに何かという案ではありません。</p>
8	<p>市民総合センターの跡地に庁舎を移していくっていう内容は、計画の一番大きいとこだと思うが、それはまだ決定することではないってことなのか。</p>	<p>なぜこんな10年後20年後までのことを決めないといけないかというと、全体計画がないと国から援助を受けられなくなるからです。市として、将来を見通した個別施設計画を立てて、その上で進めていかないといけない状況なのです。今後この計画を策定した後も5年10年と節目でまた改訂の時期があるので、その時には内容が変更になっているということもあり得ることと思います。ただ現時点においては先を見据えて費用も積算してやっていくという考え方で</p>
9	<p>他の場所はみんな跡地の利用方法が決まっています。現在ある庁舎の跡だけが何もなし。どうなるのかなっていうことが全然示されていないので疑問がある。</p>	<p>市がそのまま保有するか、売却するということになりませんが、明らかに市の中央にあり、かつ一定の面積を有しているという性質上、積極的に手放していくっていうのはなかなか考えられないと思いますが、社会情勢の変化もあるので現時点で具体を示すのは難しい状況です。</p>
10	<p>市庁舎を移転するかどうかまだ決まってませんよっていうお話でしたけども、やはり東別館と本館がある。本館を市民総合センター用地に移転して、東別館がそのまま残ってしまうと利便性がかなり損なわれるんじゃないかと。是非とも今の場所で建て替えの方がいいんじゃないかと思う。</p>	<p>市役所として、悩ましいのが本館と別館に別れてしまっていることなので、もし新しくなった場合には、今東別館にある機能も本館にある機能も1ヶ所にまとめたいと考えています。ただ、東別館は本館に比べて新しいので、建物としては利用可能という観点から他の施設へ転用というものを考えています。必ず移転しないとイケないのではなく、現庁舎に建て替えるという案も当然ありました。ただし最終的には一案に絞っていかないとイケないという意味で、今は一番財政的には将来負担を残さないという形で、これを示させていただいています。この意見交換を経て最終的にどの案にしていくかを考えさせていただきたいなと思います。</p>



11	<p>地図で見ると一番いい場所がやはり市民総合センターの場所なんです。そこはもう本当に大勢の人が来れる立地っていうのがね。例えば、どんなにすばらしいホールでもアクセスっていうのがとても大切だと思うので、一番いい場所はみんなが来れるセンターに残しておいて欲しい。そこに市役所が来るのはちょっともったいない。役所の人に申し訳ないが、市役所は南中跡地に行ったらどうかと考えてます。</p>	<p>市役所が一番最後についていうふうに思ってますので、そういう視点も再編の時には考慮していかないといけないと思っっています。</p>
12	<p>市役所の利便性を図るのに、保健センターと一緒にするっていう案がある。それなのに市役所の一部をグリーンホールに移転って書いてある。その場所で完結するどころか、またこの手続きはグリーンホールに行って下さいよっていうのであれば、これは違うんじゃないかなと思って、今のグリーンホールは使い勝手悪いといえば悪いのかと思うんですけど、移す必要なくて、そこで手続き等が完結できるようにしてもらえたらと思う。</p>	<p>グリーンホールに移転というところは、例えば財政課とか人事課とかっていうところは、おそらく普段、直接窓口で応対してっていう業務というよりは、いわゆる管理部局で、いろんなデータ整理とか政策を考えたりするっていう部局なので、別にどこにあったとしても、それが市民の方の利便性に影響があるかというところではないのかなと思っっています。</p> <p>グリーンホール田原は建物自体はもう30年ぐらいになりますけど立派な建物でして、使われてない部屋が現実的には生じてしまっているんで、市役所移転の際に、機能移転しても市民の方にご負担かからない機能をこちらに移して検討していくという意図で書かしてもらってます。</p>

## 9 公営住宅に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>市営住宅のことであるが、セーフティネットの構築検討          して書いているが、これは何か必要性があるのかなって思          うし、市がしていくことなのか。必要性があるのか、10年          後の配置図を見るともう消えているのもすぐに売却とか          したらいいんじゃないかなと思うんですが。</p>	<p>住宅確保について配慮していく必要性のある方に対し          て、どう対応していくのかっていうのは、行政として考えて          いかないといけないのかなと思っています。四條畷市住          活基本計画というのがございまして、公共的にそういう住          宅確保に対して行政的支援が必要な方に対してどういう政          策をとっていくのか、これをこの計画で規定させていただ          きたいなというふうに思っています。</p> <p>改訂予定と書いてあります通り、まさに今、計画改訂中          ございまして、今年度の末を目安にここにそういったこと          も盛り込んでいきたいなと思っています。おっしゃって          いただいたとおり、今ある市営住宅については、基本的に我々          としてはその時の役割は果たしたと思っています。</p> <p>しかし、まだ住んでらっしゃる方がいらっしゃいますの          で、今後10年ぐらい見ていながら、住宅セーフティネッ          トの考え方を整理させていただきたいなと思っています。</p>

## 10 公園施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>ここ 10 年 20 年でいろんな文化活動というのが、盛んになってきている。ホールなどの利用人数が少ない時があれば、満杯になるときもあるわけである。ボランティアでやられているそういう人たちの希望を捨てないように、ホールについて配慮いただきたいと思う。</p> <p>もう 1 点は南中が廃校になったら運動場を何とか公園にして欲しいということを何回か言わせてもらっている。というのは、どこの市に行っても立派な公園がある。四條畷市には小さい公園があって、畷中の上にグラウンドがあるが、高齢者はほとんど行けない。そういう意味では、南中が廃校になれば、中心地帯でありますので、公園にしてもらって、高齢者も子どもも、野球遊び、ボール遊びが出来るくらいの公園を四條畷市として持つておくのは絶対必要だと思う。</p> <p>我々、高齢者は畷中の上まで行くのが大変である。ほとんど利用されていないということで、ぜひ南中辺りに大きな公園を作っていただきたい。</p>	<p>四條畷全体で見ますと人口に対する公園の面積は他市と比較すると広いです。田原地域にたくさん公園がございまして、それぞれの公園面積も広いので、四條畷全体では広いのですが、西側の地域だけで人口に対する公園面積を狭いと感じられると思います。今子育て世代の方にたくさん転入してきてもらっている状況なので、公園に魅力を感じてもらいたいと思ってます。ただ原則、小学生が放課後に校区から出れないという制約がありますので、1ヶ所だけに立派に整備しても、そこにアクセスできなければ意味がないというふうに考えていますので、南中跡地にボール遊びできる場所とか、南小の南側の旧くすのき園地を市民活動センターの付近などそれぞれ小学校区に、子どもから大人まで集える、歩いて行ける範囲に公園を整備していくというのが、今の計画の方針となっています。</p>

## 11 その他の質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>なぜ団体の補助金をカットして、また補助金を一年延ばすとカットを撤回したのか。職員の給料は高いのに、補助金をカットするなんて、みんなのことを考えればそんなことできないはず。身を切ることをしてから言ってほしい。きれいごとばかり言わないでほしい。</p>	<p>人件費の話ですが、大阪府内の同規模の市で本市が一番人件費をかけていません。職員数も同規模の市の中で、一番少ないです。</p> <p>本市の補助金の金額は年々増加しています。新しい活動をしたいと考えておられる方などを応援する為や、補助金のあり方について見直しをさせていただく（公平性を保つ観点からも）判断をしました。</p> <p>突然、見直すと判断したことは反省しております。それも踏まえ、今後どのようにされるかを団体の中で話し合い頂くために1年延ばさせていただきました。</p>
2	<p>街を活性化させるために、映画のロケを地域に誘致し、観光客の増加を狙うという事例もある。</p>	<p>映画のロケを地域に誘致し、観光客の増加を狙うという事例もあります。</p>
3	<p>施設の集約化はいいですが、循環バスなどの交通手段があると思う。</p>	<p>コミバスについては平成29年度から新たな公共交通計画の取組をやっていて、実証実験をこの下半期から行っています。本市がバスにかけている費用は、周辺市に比べると人口1人当たりおよそ4.5倍になっています。それを今後も青天井で進めていくのは現実的には非常に厳しいです。利用率を高める取組を、今年度実証して、来年度以降進めていきたいと思っています。</p>
4	<p>この計画策定に際して、住民投票という考えはお持ちですか。この計画が策定に至らなかった時には、職を辞す覚悟でいるのかお聞きしたい。</p>	<p>住民投票という考え方については、この計画のように複数の条件が加味し、議論を重ねる必要がある場合には、市民の皆さんの意見を反映させにくいと思います。ただ、私が行いたい施策が住民投票で否決になったならば、この職を辞すべきであるという認識でいることはお伝えしておきます。</p>
5	<p>補助金のカットについては、市長とどなたで決められたのか。</p>	<p>職員と協議し、最終私が決めました。</p>

<p>6</p>	<p>お稽古とかで使ってる備品を来年 3 月いっぱいでは使えないという話があったのですが、先般に 1 年間延長しますという話があった。どうしてそうなったのですかと聞いても、いろいろあったんで 1 年間延長しますだけの話でした。いま現状として使わしてもらってるところがいつまで使えるかっていうことの話がね、今まで出てこなかったんで、ちょっとそういう質問をさしていただいた。</p> <p>次に、施設の予約状況についてインターネットですという話で、まずインターネットは苦手です、私らの年代は。</p>	<p>インターネットになるからといって、インターネットでしか予約ができなくなるとかではなく、従来の方法とインターネットのいずれか、都合のいい方を使っていただく形になります。</p> <p>他の団体から見たときに、なぜ一部の団体だけが、ずっと物を置ける状態になってるのっていうのに関しては、今行政として整合性がとれない状態です。なので、一旦ルールを決めさせていただいて、みなさんが公平に使っていただけるような制度設計をさせていただきたい。使えなくなるようになりますっていう話じゃなくて、特定の団体さんだけが備品を置けるのって何でなのっていうことに対して、行政も答えられないといけないので、そのルールを決めさせて欲しいということです。それをやるのに 1 年では、拙速だったなと思いますので反省しています。なので、もう 1 年間でどういうふうにさせていただくかを協議させていただきたいという思いで 1 年延ばさせていただきました。</p>
<p>7</p>	<p>あなたが市長になってからすごい事になってます。補助金を打ち切られましたけど、あなたの周りに、どんどん人材入れておられます。政治に関係のない人ばかり集め、市を私物化してます。口はすごい上手ですが、誠意が伝わりません。</p> <p>副市長さんなんかなんの仕事されてますか。そんなお給料を取られて何してます。あなた育児が中心でしょ。はじめからこの方をね、副市長にした時からおかしいなと思ったんです。そしたら、どんどん入れてますやんか。政治に関係のない。広聴の方たくさん居てるのにね。なんでまた入れるんですか。お金タダじゃないでしょう。あなたには誠意がない。</p>	<p>補助金とかの話がありましたが、補助金に関しては、財政の判断でやっているのではなくて、当然、補助金が必要だから市として補助金つけさせていただいてきたんですが、未来永劫それでいいのかということではなくて、今 1 度立ち止まらせていただいて、新しいルールを作って、公平透明な中で補助金をつけさせていただく団体っていうのを、どういうふうにしてつけてるのかというのを、皆さんにわかってもらえるようなルールに変えてるだけです。予算を削りたいから、補助金を切ったというわけではないです。本市の人員費については、大阪府の中で最も低く、職員数も少なく抑えた中で運営をさせていただいています。</p> <p>様々な分野を経験した人の知恵が集まることによって、数が少なくても市政を円滑に行っていこうという想いでやっています。人員費総額としては一番落としながら運営しているという現状はお話させていただきます。</p>

8	<p>ネットで地方自治体を応援するメディアインタビューを全部読ませていただいた。その中において長く住んでいる人こそがメリットを享受できる町にしたいとおっしゃっていました。施設再編計画の内容を見ると、長く住んでる方の意見を全く聞いてないなと思いました。</p> <p>他の街を事例にして政策を考えてるっていう部分があります。例えば、子育てステーションを作るので、この町に住みたい人が増えるように言ってるんですけども、育てる上でそういうことだけで、住みたいなって思わない。全国的に少子化が進んでいるのに、子育て世代が住みついてくれるのかなどの分析とか、そういうところの細かな数字とかも出しているのか。他の街の事例を見て、四條畷市に当てはめようとは見えな。</p>	<p>子育て世代に選ばれる街についてなどの人口増加策についてはこの計画ではなくて、総合戦略というものの中でどういう政策を立て、何人ぐらいを目標にしていこうという計画を出させていただいています。</p>
9	<p>南中を廃校するときは、教育委員会の決定があつて、それを最終的に市長がそうですねと理解している。教育委員会の人は私たちが直接選んでるわけではない方々なので、私たちの代表は選ばれてなっている市長なのでリーダーシップをもっと前面に出してもらいたい。</p>	<p>教育委員会との関係性の問題については、議論の余地があるものであり、教育委員会制度というものは、ある意味独立性を担保するというものの、理念が強く反映されている制度なので、良い点、難しい点があります。それらを踏まえて総合教育会議という仕組みもあるので、意思疎通を図っていききたいな思っている。</p>
10	<p>今回の資料をホームページにあげてるんだと思うが、アップされた頃には、すぐ見つけられる場所にあるのですが、ちょっと古い資料を探そうと思うともものすごく調べないといけない。</p> <p>市として計画を持ってるのであれば、それはトップ画面からでも飛べるような場所に設定して欲しい。でないと、パブリックコメント募集しました、そんな締め切り期限ぎりぎり知ったみたいな状況があつて、それは好ましくないんじゃないかなと思う。</p>	<p>ホームページ上でより分かりやすくしていくかについては、この重要な計画のみならず、他の計画も含めて、どういうふうな形にすればより良くお伝えできるのか。これは改善を考えさせていただければと思います。</p> <p>その上で、ホームページが、この4月から新しくなったんですが、検索する欄がございまして、そこで公共施設って打っていただいたりすると、公共施設関連のページが一斉に表示されます。調べていただきたい項目を文字で打っていただくと、それに関する情報だけを一覧で出せる検索窓の機能を、この4月からつけさせていただいているので、ぜひそれも活用いただけたらなと思います。</p>

11	<p>市長さんとの意見交換会ということですから、質問に対して市長さんがお答えになるのは、ごく当たり前のことだというふうに思っているが、市長 1 人の思いでやってらっしゃるわけじゃないですよね。ですから、市長がいなくても、他の方が同じように、答弁をしていただけるところまで情報共有しているのかということを知りたい。</p>	<p>副市長、教育長、総務部長及び教育次長などが来ておりますけれども、絶えず、市の中で共有してやっているので、どのような場面になっても同じようなお答えをさせていただきますと思います。</p>
12	<p>活断層によって南中学校が危ない状況だという説明を聞いたのだが、地図を見ると、その延長線上に四條畷小学校も活断層の上にあるように見えるのですが、そのあたりは調査されたのか。</p>	<p>国土地理院の活断層図の中で線は引かれていないが、辿っていけばその延長線上にあります。ただ、土砂災害警戒区域、浸水害や液状化など危険なところがたくさんあるかというとはそうではないと思います。このような中で公共施設は、安全性の高い場所で、建替えや移転などを進めていきます。一斉に調査するのではなく、大規模な改修等を行うときにそれぞれの安全性をきっちり確保していくというのが今進めようとしているやり方になります。</p>
13	<p>田原子供サポーターズということで活動させていただいている。田原中学校のことなんですが、子ども達が日常過ごしている場所が土砂災害の警戒区域になっていて、西側の地区では移転も考えているような中で、田原中はどうかというのがメンバーからもある。避難所になっていないというのはもちろんなんですが、そこに対しての対策というか、どういう形で土砂災害への対策を取っておられるのかなというのが気になったので教えていただければと。</p>	<p>田原中学校は、土砂災害警戒区域されております。その上で国、大阪府を含めて、土砂災害に対して、どのように取り組んでいくのか、日本全体を眺めたときに大阪から順にやっていくかという、おそらくそうではなく、もっと危険なエリアが日本にはあると思うので現実的には難しいと考えます。</p> <p>大阪府や市町村が考えているのは、いざという時にどういうふうに対応していくのか。土砂災害発生時に、我々としてとらせていただきたいのは、いわゆる逃げるしのご施策ということになります。土砂に堆積してる雨量計の推移を見て判断するのですが、一定危険域になった場合は、エリアの方々に避難していただくというふうな対策を取らしてもらおうこととなっています。</p>

14	<p>現在、市民向けにアンケート調査をされていると思います。これは今の施設の話と関連してアンケート調査をされているのか。その意見も参考にされるのかをお聞かせ願いたい。</p>	<p>今、市民意識調査というのをやらせていただいているものかなと思います。これについては施設のためにというよりは市域、市全体の政策を今後どういうところに力点を置いて進めていくのが良いかなど参考とさせていただくためのアンケートとなっていますので、施設の再編を決めるうえでの参考とするものではありません。</p>
----	---	--